



Cisco Unified IP Phone 7931G 電話ガイド for Cisco Unified Communications Manager 7.0 (SCCP/SIP)

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。
また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

電話機の一般的なタスク

電話機でオンラインヘルプを表示する	 () >  を押します。
コールを発信する	 を押して、番号を入力します。
番号をリダイヤルする	 を押します。
ヘッドセットを使用する	 () を押します。
電話機をミュートにする	 を押します。
コールを保留にする	 を押します。
コールを復帰する	 (点滅) を押します。
新しい番号へコールを転送する	 を押します。
インターコム コールを発信する	 () を押します。
短縮ダイヤルを使用する	 () を押します。
会議コールを発信する	 () を押します。



クイック リファレンス



Cisco Unified IP Phone 7931G 電話ガイド for Cisco Unified Communications Manager 7.0 (SCCP/SIP)

ソフトキーの機能
電話スクリーンのアイコン
ボタン アイコン
電話機の一般的なタスク

ソフトキーの機能

短縮	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
応答	コールに応答する
戻る	前のヘルプの項目に戻る
折返し	話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに通知を受信する
キャンセル	変更内容を適用せずに、操作をキャンセルまたは画面を終了する
クリア	レコードまたは設定を削除する
閉じる	現在の画面を閉じる
会議	会議コールを作成する
参加者	会議の参加者を表示する
削除	編集機能を使用しているときに、カーソルの右側にある文字を削除する
詳細	不在履歴および着信履歴内の複数のコールに関する詳細レコードを開く
ダイヤル	番号をダイヤルする
即転送	ボイス メッセージ システムにコールをすぐに転送またはリダイレクトする
サイレント	サイレントをオンまたはオフにする
編集	履歴の電話番号を編集する
終了	現在のコールまたは現在のインターコム コールを切断する
削除	設定をデフォルトに戻す
終了	前の画面に戻る
不在	コール転送を設定またはキャンセルする
G ピック	他のグループまたは別の回線で呼び出し中のコールに応答する
リンク	関連のあるヘルプの項目を表示する
メイン	[ヘルプ] メイン メニューを表示する
ミーティング	ミーティング会議コールを開催する
次へ	その他のソフトキーを表示する



Cisco, Cisco Systems, the Cisco logo, and the Cisco Systems logo are registered trademarks or trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries. All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0705R)

Copyright © 2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

OL-15791-01-J

発信	新しいコールを発信する
他 Grp	関連付けられているグループで呼び出し中のコールに応答する
パーク	コールパークを使用してコールを保存する
ピック	グループ内の別の電話機で呼び出し中のコールに応答する
リダイヤル	最後にダイヤルした電話番号にリダイヤルする
削除	会議の参加者を削除する
復帰	保留されたコールを復帰する
ドロップ	会議コールに最後に追加された参加者を削除する
保存	選択した設定を保存する
検索	ディレクトリのリストを検索する
選択	メニュー項目またはコールを選択する
転送	コールを転送する
更新	内容を更新する
ビデオ	ビデオ表示モードを選択する
<<	入力した文字を削除する
>>	入力した文字の上を移動する

電話スクリーンのアイコン

コールの状態

	オンフック回線
	オフフック回線
	接続コール
	コール転送が有効
	呼び出し中のコール、または BLF で監視された回線が呼び出し中 (BLF ピックアップ)
	コールの保留
	保留復帰
	リモートで使用中
	認証されたコール
	暗号化されたコール
	アイドル状態のインターコム回線
	一方向のインターコム コール
	双方向のインターコム コール

機能アクセス

	アプリケーション メニュー
	設定メニュー
	電話帳メニュー
	メッセージ メニュー
	サービス メニュー
	ヘッドセット ボタン
	会議ボタン
	その他のコール機能
	モビリティ
	機能が有効

	機能が無効
	短縮ダイヤル ボタン
音声またはビデオ モード	
	ハンドセットを使用中
	スピーカフォンを使用中
	ヘッドセットを使用中
	ビデオ

ボタン アイコン

	リダイヤル
	転送
	保留
	ナビゲーションと選択
	スピーカ
	ミュート

Contents

はじめに 1

- このガイドの使用方法 1
- 追加情報の入手 2
- 安全および使用に関する情報 3
- シスコ製品のセキュリティ 4
- アクセシビリティ機能 4

電話機の接続 5

電話機の概要 8

- ボタンとハードウェアについて 9
- 回線とコールについて 13
 - 回線およびコールのアイコンについて 13
- 電話スクリーンの機能について 16
- アプリケーションメニューへのアクセス 18
- 電話機のヘルプシステムへのアクセス 18
- 機能のアクセシビリティについて 19
- SIP と SCCP の違いについて 20

基本的なコール処理 21

- コールの発信：基本的なオプション 21
- コールの発信：その他のオプション 23
- コールへの応答 26
- コールの終了 28
- コールの保留と復帰 29

ミュートの使用	30
複数のコール間での切り替え	30
進行中のコールの他の電話機への切り替え	31
コールの転送	32
ボイス メッセージ システムへのコールの送信	33
別の電話番号へのコールの転送	34
サイレントの使用	36
会議コールの使用方法	37
会議の各機能の使用方法	37
会議機能の使用方法	37
参加機能の使用方法	38
ミーティングの使用方法	39
会議の参加者の表示または削除	40
インターコム コール発信と受信	41

応用的なコール処理 43

短縮ダイヤル	43
自分の電話機にリダイレクトされたコールへの応答	45
パークされているコールの保存と取得	47
ハント グループからのログアウト	48
共有回線の使用	49
共有回線について	49
共有回線での操作	50
BLF による回線状態の確認	51
安全なコールの送受信	52
不審なコールのトレース	54
重要なコールの優先順位付け	54
Cisco エクステンション モビリティの使用	56
1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理	57

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法	59
ハンドセットの使用	59
ヘッドセットの使用	60
スピーカフォンの使用	61
ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用	62
電話機の設定の変更方法	63
呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ	63
電話スクリーンのカスタマイズ	64
履歴およびディレクトリの使用方法	65
履歴の使用方法	65
ディレクトリ ダイヤリング	67
電話機での社内ディレクトリの使用方法	68
電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法	69
ボイス メッセージへのアクセス	72
ユーザ オプション Web ページの使用	74
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	74
Web での機能およびサービスの設定	76
Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法	76
Web での個人アドレス帳の使用方法	76
Web でのファースト ダイヤルの設定	77
アドレス帳同期ツールの使用方法	79
Web での短縮ダイヤルの設定	79
Web での電話機サービスの設定	81
Web でのユーザ設定の制御	83
Web での回線設定の制御	84
モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定	86

Cisco WebDialer の使用方法	89
その他の設定オプションについて	91
電話機のトラブルシューティング	93
一般的なトラブルシューティング	93
電話機の管理データの表示	94
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	95
索引	

はじめに

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	操作
電話機について調べる	サポートが必要なときは、電話機の  () >  を押してください。
重要な安全情報を参照する	P.3 の「安全および使用に関する情報」を参照してください。
電話機を接続する	P.5 の「電話機の接続」を参照してください。
設置後に電話機を使用する	P.8 の「電話機の概要」を参照してください。
ボタンとソフトキーについて調べる	P.9 の「ボタンとハードウェアについて」を参照してください。
コールを発信する	P.21 の「コールの発信：基本的なオプション」を参照してください。
コールを保留にする	P.29 の「コールの保留と復帰」を参照してください。
ミュートにする	P.30 の「ミュートの使用」を参照してください。
コールを転送する	P.32 の「コールの転送」を参照してください。
会議コールを発信する	P.37 の「会議コールの使用方法」を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P.43 の「短縮ダイヤル」を参照してください。
電話番号を共有する	P.45 の「自分の電話機にリダイレクトされたコールへの応答」を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	P.59 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」を参照してください。
呼出音またはコールの音量を変更する	P.63 の「呼出音およびメッセージインジケータのカスタマイズ」を参照してください。
不在履歴を表示する	P.65 の「履歴の使用方法」を参照してください。

目的	操作
ボイス メッセージを聞く	P.72 の「ボイス メッセージへのアクセス」 を参照してください。
ソフトキーとアイコンの定義を確認する	このガイドの冒頭のクイック リファレンス カードを参照してください。

追加情報の入手

WWW 上の次の URL から、Cisco Unified IP Phone の最新資料を入手することができます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

<http://www.cisco.com/jp>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

最新のライセンス情報については、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cuipph/all_models/openssl_license/7900_ssllic.html

安全および使用に関する情報

停電およびその他のデバイスの Cisco Unified IP Phone への影響については、この項を参照してください。

停電

電話機で緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されている電話機に依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コール サービスへのダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置のリセットまたは再設定をしてから、利用または緊急コール サービスへのダイヤルを行う必要があります。

外部デバイスの使用方法

次の情報は、Cisco Unified IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システムパフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステムパフォーマンスを得られます。



注意

欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、およびヘッドセットだけを使用してください。

シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次の URL で参照できます。

http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html

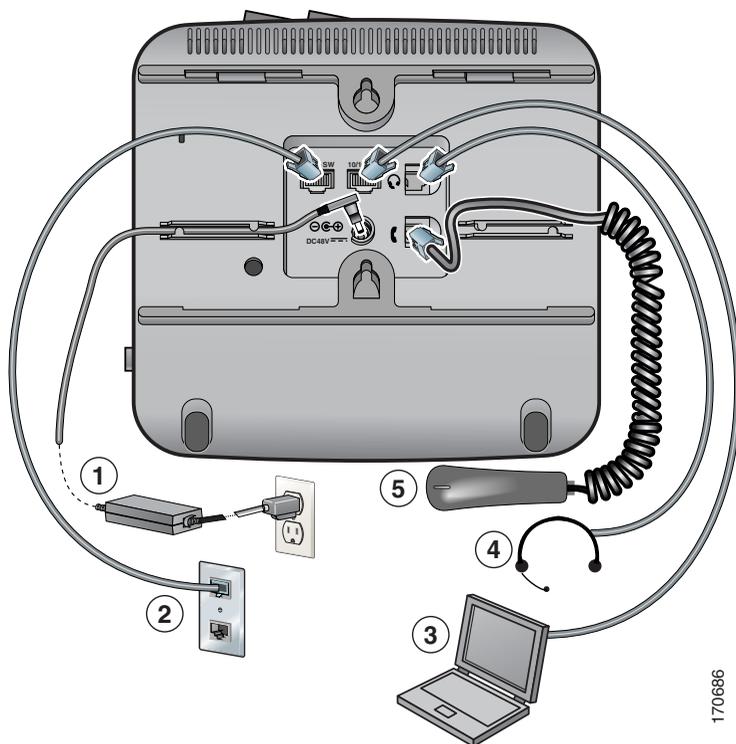
アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストをご希望の場合は、お問い合わせください。シスコのアクセシビリティ機能の詳細については、次の URL で参照できます。

www.cisco.com/go/accessibility

電話機の接続

通常は、システム管理者が新しい Cisco Unified IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の図と表を参照して、電話機を接続してください。

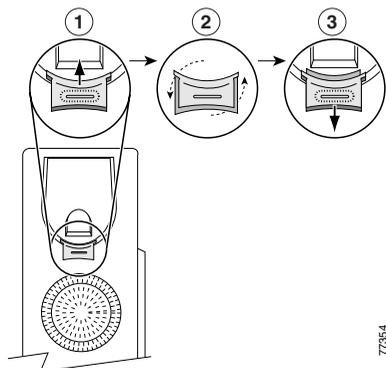


170686

1	DC アダプタ ポート (DC48V) (オプション)
2	ネットワーク ポート (10/100 SW)
3	アクセス ポート (10/100 PC)
4	ヘッドセット ポート
5	ハンドセット ポート

ハンドセット受け台の調節

電話機を接続する際、ハンドセットが滑り落ちないように、受け台を調整することができます。次の表に手順を示します。



1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。

TAPS (内線番号自動登録システム) への登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

ヘッドセットについて

シスコシステムズでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内で若干のテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。

シスコシステムズでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽されるヘッドセットなど高品質な外部デバイスの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音やエコーが入ることもあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、リモートの通話相手だけに聞こえる場合も、リモートの通話相手と Cisco Unified IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合もあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。詳細については、P.3 の「外部デバイスの使用方法」を参照してください。



(注) 場合によっては、ハム雑音は、ローカル電源キューブやパワー インジェクタを使用することにより、軽減または除去が可能です。

Cisco Unified IP Phone を実際に展開する場合、環境やハードウェアにより不整合が発生することがあるので、すべての環境に対して最適な唯一のヘッドセットを見出すことは不可能です。

購入を決定し幅広く展開する前に、目的の環境でお客様がヘッドセットをテストしてパフォーマンスを確認することをお勧めします。

オーディオの品質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスより先に、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音の品質の判断は主観的なものであるため、シスコでは、特定のヘッドセットの性能を保証することはできません。ただし、主要なヘッドセットメーカーのさまざまなヘッドセットについて、Cisco Unified IP Phone で使用した場合のパフォーマンスが優れていることが報告されています。詳細については、メーカーのサイトを参照してください。

無線ヘッドセット リモート フックスイッチ コントロール機能と組み合わせて使用できる無線ヘッドセットについては、次の URL にアクセスしてください。 <http://www.cisco.com/cgi-bin/ctdp/Search.pl>

1. [Enter Solution] ドロップダウン リスト ボックスで [**IP Communications**] を選択します。 [Select a Solution Category] ドロップダウン リスト ボックスが表示されます。
2. [**IP Phone Headsets**] を選択して、Technology Development Program パートナーの一覧を表示します。特定の Technology Development Program パートナーを探すには、[Enter Company Name] ボックスにパートナーの名前を入力します。

電話機の概要

Cisco Unified IP Phone 7931G は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

Cisco Unified IP Phone 7931G は、中規模の電話機トラフィックで要求される通信要件と特定のコール要件を満たすように設計されています。専用の保留キー、リダイヤル キー、および転送キーがあり、コール処理が簡単になります。基本的なコール処理のほかに、Cisco Unified IP Phone では、コール処理機能を拡張して生産性を向上させる機能をサポートしています。

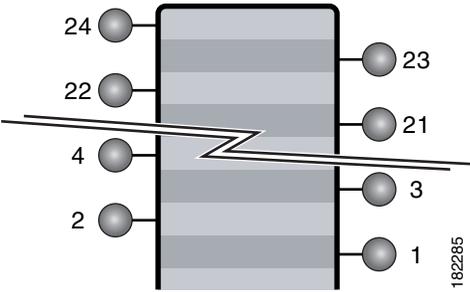
- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- 電話機能のオンライン カスタマイズおよび Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページからのサービス
- 電話スクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム

ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアを特定するには、次の図を参照してください。



項目	説明	参照先
1 プログラマブル ボタン 	<p>設定に応じて、プログラマブル ボタン(回線キー) で次の機能にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線およびインターコム回線 (回線ボタン) • 短縮ダイヤル番号(短縮ダイヤル ボタン、BLF 短縮ダイヤル機能を含む) • Web ベースのサービス (個人アドレス帳ボタンなど) • コール機能 (プライバシー、会議など) • ローカル機能 (アプリケーション メニュー、ヘッドセット、設定など) <p>表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">  緑、点灯：アクティブなコールまたは双方向のインターコム コール  緑、点滅：コール保留中  オレンジ、点灯：プライバシー使用中、一方向のインターコム コール、サイレント、ハント グループにログイン中、ヘッドセットまたはその他のローカル機能が有効  オレンジ、点滅：コール着信中またはコール復帰中  赤、点灯：リモート回線が使用中 (共有回線、BLF ステータス、またはアクティブなモバイル接続コール)  赤、点滅：リモート コール保留中 	<ul style="list-style-type: none"> • 電話スクリーンの機能について (P.16) • 基本的なコール処理 (P.21) • 短縮ダイヤル (P.43) • 共有回線の使用 (P.49) • BLF による回線状態の確認 (P.51) • インターコム コールの発信と受信 (P.41) • コールの保留と復帰 (P.29)

項目	説明	参照先	
	<p>回線キーには、左から右に降順で 24 ~ 1 の番号が付けられています。</p> 		
2	紙ラベル	各ボタンの回線情報または機能情報を識別できます。	回線およびコールのアイコンについて (P.13)
3	ソフトキー ボタン 	各ボタンは、電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	電話スクリーンの機能について (P.16)
4	保留ボタン 	コールを保留にします。	コールの保留と復帰 (P.29)
5	転送ボタン 	コールを別の番号に接続します。	コールの転送 (P.32)
6	リダイヤル ボタン 	最後にダイヤルした番号に接続します。	コールの発信：基本的なオプション (P.21)
7	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	基本的なコール処理 (P.21)
8	ミュート ボタン 	マイクロフォンモードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。	ミュートの使用 (P.30)
9	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を制御します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.59)
10	スピーカ ボタン 	スピーカフォンモードのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.59)

回線とコールについて

回線とコールについて混同しないために、次の説明を参照してください。

- 回線：24のプログラマブル ボタンがあります（P.9の「ボタンとハードウェアについて」を参照）。通常、システム管理者が、これらの回線の一部（最大 24）をコールの発信および受信用の回線に割り当てます。各回線は、他者が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号に対応しています。

一部の回線で同じ電話番号を共有し、別の回線で独自の電話番号を持つことができます。電話回線を表示するには、ナビゲーション ボタンでプログラマブル ボタン表示のリストをスクロールします（P.16の「電話スクリーンの機能について」を参照）。

回線として設定されているボタンには、電話番号と、関連付けられているボタン番号が表示されます。たとえば、電話番号「3105」をボタン 1 に割り当てた場合、電話スクリーンに「3105:01」と表示されます。また、各回線にはアイコンが関連付けられており、目的の識別に役立ちます（P.13の「回線およびコールのアイコンについて」を参照）。

- コール：各回線は、単一のコールをサポートできます。複数の回線が電話番号を共有している場合も、それぞれの回線が1つずつコールをサポートできます。

回線およびコールのアイコンについて

電話機には、回線およびコールの状態、および回線ごとの機能へのアクセシビリティの判断に役立つアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
コールの状態		
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	コール転送が有効	この回線ではコール転送が有効です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線でコールの呼出音が鳴っているか、BLFで監視された回線が呼び出し中です（BLF ビックアップ）。P.51の「BLFによる回線状態の確認」を参照してください。
	コールの保留	コールが保留されています。P.29の「コールの保留と復帰」を参照してください。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	リモートで使用中	共有回線の別の電話機に接続コールがあります。P.49の「共有回線の使用」を参照してください。
	認証されたコール	P.52の「安全なコールの送受信」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.52の「安全なコールの送受信」を参照してください。
	アイドル状態のインターコム回線	インターコム回線は使用されていません。P.41の「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。
	一方向のインターコム	インターコム回線は、一方向の通話を送信または受信しています。P.41の「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。
	双方向のインターコム	受信者が、インターコム回線で発信者との双方向通話をアクティブにしました。P.41の「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。

機能アクセス

	アプリケーション メニュー	アプリケーション メニューがこの回線キーに割り当てられています。P.18の「アプリケーション メニューへのアクセス」を参照してください。
	設定メニュー	設定メニューがこの回線キーに割り当てられています。P.63の「電話機の設定の変更方法」を参照してください。
	電話帳メニュー	電話帳メニューがこの回線キーに割り当てられています。P.65の「履歴およびディレクトリの使用方法」を参照してください。
	メッセージメニュー	メッセージメニューがこの回線キーに割り当てられています。P.72の「ボイスメッセージへのアクセス」を参照してください。
	サービスメニュー	サービスメニューがこの回線キーに割り当てられています。P.81の「Webでの電話機サービスの設定」を参照してください。
	ヘッドセット ボタン	このオプションを使用すると、電話機でヘッドセットを使用できます。P.59の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」を参照してください。
	会議ボタン	会議がこの回線キーに割り当てられています。P.37の「会議コールの使用方法」を参照してください。

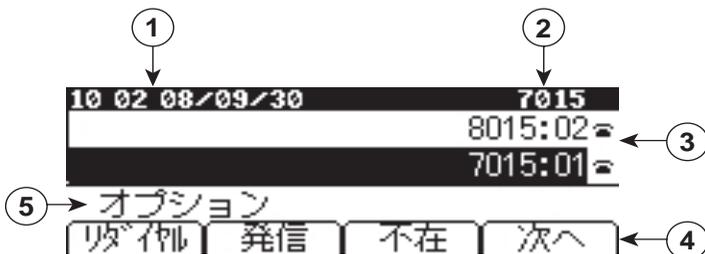
アイコン	回線またはコールの状態	説明
▶	その他のコール機能	コール機能がこの回線キーに割り当てられています。機能を確認するには、アイコンの横にあるテキストの説明を参照してください。
□	モビリティ	モビリティ アクセスがこの回線キーに割り当てられています。P.57の「1つの電話番号を使用したビジネス コールの管理」を参照してください。
■	機能が有効	この回線キーに割り当てられているコール機能が有効です。機能を確認するには、アイコンの横にあるテキストの説明を参照してください。
⋮	短縮ダイヤルまたは BLF 短縮ダイヤル ボタン	短縮ダイヤル ボタンがこの回線キーに割り当てられています。P.43の「短縮ダイヤル」、P.81の「Web での電話機サービスの設定」、および P.51の「BLF による回線状態の確認」を参照してください。

ヒント

回線キーの割り当てを思い出せるように、システム管理者が、印刷済みの紙ラベルを配布することがあります。配布されなかった場合は、白いラベルを外し、独自のラベルを作成します。

電話スクリーンの機能について

アイドル状態のときに表示される電話スクリーンを示します。このビューを「概要」と言います。



1	日時表示	現在の日付と時刻が表示されます。
2	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号（ディレクトリ番号）を表示します。
3	プログラマブル ボタンのインジケータ	<p>プログラマブル ボタン  は、電話回線ボタン、インターコム回線ボタン、短縮ダイヤル ボタン、電話サービス ボタン、コール機能ボタン、またはローカル機能ボタンとして機能します。</p> <p>アイコンとテキストの説明で、ボタンの設定方法が示されます。アイコンのリファレンスについては、P.13 の「回線およびコールのアイコンについて」を参照してください。</p>
4	ソフトキーのラベル	ソフトキーの機能をそれぞれ表示します。
5	ステータス行	オーディオ モードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。

コールに接続したときに表示される電話スクリーンを示します。このビューを「詳細」と言います。



1	概要	すべての回線の回線番号とアイコン状態が表示されます。
2	詳細ビュー	選択した回線キーに割り当てられているコールおよびローカル機能の詳細が表示されます。この例では、接続中のコールに関する情報（電話番号、接続時間、コールのステータスなど）が表示されています。ナビゲーション ボタンを使用してスクロールすると、別の回線の詳細を表示できます。詳細ビューには、コールおよびローカル機能のラベル名とアイコンが表示されます（P.13の「回線およびコールのアイコンについて」を参照）。

アプリケーション メニューへのアクセス

ローカル電話機能にアクセスするには、アプリケーション メニューを使用します。

目的	操作
アプリケーション メニューにアクセスする	 >  を押して、アプリケーションのリスト（[メッセージ]、[ディレクトリ] [設定] [サービス] および[ヘルプ]）を表示します（通常、アプリケーションメニューは、左カラムの上部にある  ボタン 24 に割り当てられています）。
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーション ボタンを使用します。
メニュー項目を選択する	ナビゲーション ボタンを使用してスクロールし、メニュー項目を強調表示して、  または [選択] を押します。または、メニュー項目の番号に対応するキーパッドの数字を押すこともできます。
メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了] を押します。メニューの最上位レベルで [終了] を押すと、メニューが閉じます。
メニューを閉じる（そしてアプリケーションメニューに戻る）	[終了] を1回以上、メニューが閉じるまで押します。
アプリケーションメニューを終了する	 または [終了] を押します。

ヒント

一部のアプリケーションメニュー項目（[設定]、[ディレクトリ]、[サービス]、[メッセージ]）は、独自のボタンに割り当てられることもできます。ナビゲーション ボタンを使用して概要ビューをスクロールし、P.13 の「[回線およびコールのアイコンについて](#)」を参照して回線を識別してください。

電話機のヘルプ システムへのアクセス

電話機には、包括的なオンライン ヘルプ システムが備わっています。電話機のヘルプを表示するには、 >  > [ヘルプ] を押します（通常、アプリケーションメニューは、左カラムの上部にある  ボタン 24 に割り当てられています）。

機能のアベイラビリティについて

電話機のシステム設定によって、この電話ガイドに記載されている機能がご使用の電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のアベイラビリティについては、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

ソフトキーを使うか回線キーを押すと、機能にアクセスできます。一部の機能を設定することができますが、ほとんどの機能はシステム管理者が制御します。

次に、機能にアクセスするためのソフトキーと回線ボタンの使用方法について詳しく説明します。

機能	ソフトキー	回線ボタンのラベルとアイコン
コールバック	折返し	折返し ▶
コール転送	不在	不在転送 ▶
コール パーク	パーク	パーク ▶
コール ピックアップ	ピック	ピック ▶
会議	会議	会議 
会議リスト	参加者	会議リスト ▶
サイレント	サイレント	サイレント 
コールの終了	終了	終了 ▶
グループピックアップ	G ピック	グループピックアップ ▶
保留	保留	 ボタン
ハントグループ	ハント	ハントグループ ▶
迷惑呼 ID	迷惑呼	迷惑呼 ID ▶
ミーティング	ミーティング	ミーティング ▶
モビリティ	モビリティ	モビリティ 
発信	発信	発信 ▶
その他のグループ ピックアップ	他 Grp	他のピックアップ ▶
リダイヤル	リダイヤル	 ボタン
最後の会議参加者を削除	ドロップ	最後の参加者の削除 ▶
転送	転送	 ボタン
ビデオ モード	ビデオ	ビデオ 

SIP と SCCP の違いについて

電話機は、Session Initiation Protocol (SIP) と Skinny Call Control Protocol (SCCP) のどちらかのシグナリングプロトコルに対応するように設定できます。この設定は、システム管理者が行います。

電話機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものを示します。電話機で使用されているプロトコルについては、システム管理者に問い合せてください。

基本的なコール処理

機能やサービスを使用する基本的なコール処理を実行することができます。機能のオペラビリティが異なる場合、詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：基本的なオプション

次に、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法を紹介します。

目的	操作	参照先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げて、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.59)
スピーカフォンを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.59)
ヘッドセットを使用してコールを発信する	 () を押して、番号を入力します (通常、ボタン 23 がヘッドセットに割り当てられます)。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.59)
番号をリダイヤルする	 を押して、最後の番号をダイヤルします。	コールの発信：基本的なオプション (P.21)
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">  ()-[ディレクトリ]を押します。 [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。 [ダイヤル] を押します。 	履歴の使用方法 (P.65)

ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます (プレダイヤル)。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げてオフフックにし、[[ダイヤル](#)] を押すか、 () または  を押します。

- プレダイヤルする場合、この電話機には、発信履歴ログが利用可能な場合、そこから一致する電話番号を表示し、ダイヤルしている番号を前もって示す機能があります。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号に発信するには、その番号までスクロールし、オフフックにするか [選択] ボタンを押します。
- 間違ってダイヤルした場合は、<< を押して番号を消去します。
- コールの発信者と受信者にピープ音が聞こえる場合、そのコールは監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コール ディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：その他のオプション

この電話機で利用可能な特別な機能やサービスを使ってコールを発信することができます。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する(異なる回線を使用)	<ol style="list-style-type: none"> 新しい回線の  を押します。最初のコールは自動的に保留状態になります。 番号を入力します。 	コールの保留と復帰 (P.29)
短縮ダイヤルを使用する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">  () を押します。 固定短縮ダイヤル機能を使用します。 ファーストダイヤル機能を使用します。 	短縮ダイヤル (P.43)
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">  () > [ディレクトリ] > [社内ディレクトリ] を選択します(名前は異なる場合があります)。 名前を入力し、[検索] を押します。 リストを強調表示し、オフフックにします。 	履歴の使用方法 (P.65)
Cisco CallBack を使用して、話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> ビジー音または呼出音が聞こえているときに [折返し] を押します。 切断します。回線がフリーの状態のときは、電話機により通知されます。 再びコールを発信します。 	システム管理者
短縮ダイヤルに関連付けられている回線にコールを発信する前に、その回線がビジー状態かどうかを確認する	ビジー回線機能のインジケータを確認します。	BLF による回線状態の確認 (P.51)
プライオリティ (Precedence) コールをかける	MLPP アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	重要なコールの優先順位付け (P.54)

目的	操作	参照先または問い合わせ先
個人アドレス帳 (PAB) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  (☎) > [ディレクトリ] > [パーソナルディレクトリ] を押して、ログインします。 2. [個人アドレス帳] を選択し、リスト項目を検索します。 	電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法 (P.69)
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 番号をダイヤルします。 2. トーンの後、CMC (クライアントマターコード) または FAC (Forced Authorization Code) を入力します。 	システム管理者
エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機でエクステンション モビリティ サービスにログインします。	Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.56)
モバイル ボイス アクセスを使用して携帯電話からコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. モバイル ボイス アクセスの番号とエンドユーザの PIN をシステム管理者から入手します。 2. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 3. 携帯電話の番号 (要求された場合) と PIN を入力します。 4. 1 を押して、会社の IP Phone にコールを発信します。 5. デスクトップの電話番号にダイヤルします (自分のデスクトップの番号以外)。 	1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理 (P.57)

目的	操作	参照先または問い合わせ先
ファースト ダイヤルを使用してコールを発信する	<p> (注) この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [ファースト ダイヤル] 回線ボタンを押します。 2. インデックス番号までスクロールするかインデックス番号を押すかして、エントリーを探します。 3. [ダイヤル] を押します。 	<p>Web でのファースト ダイヤルの設定 (P.77)</p> <p>Web での個人アドレス帳の使用方法 (P.76)</p>
PAB を使用してコールを発信する	<p> (注) この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [PAB] 回線ボタンを押します。 2. 連絡先にアクセスし、番号を選択します。 3. [ダイヤル] を押します。 	<p>Web でのファースト ダイヤルの設定 (P.77)</p> <p>Web での個人アドレス帳の使用方法 (P.76)</p>

コールへの応答

コールに応答するには、ハンドセットを取り上げるか、電話機で利用できるその他のオプションを使用します。

目的	操作	参照先
ヘッドセットで応答する	 () が点灯していない場合、押します。  () が点灯している場合は、[応答] または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.59)
スピーカフォンで応答する	 、[応答] または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.59)
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線で呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。	コールの保留と復帰 (P.29)
コール待機を使用して応答する	[応答] を押します。	コールの保留と復帰 (P.29)
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送] を押します。	ボイス メッセージ システムへのコールの送信 (P.33)
自動接続コール	自動応答を使用します。	ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用 (P.62)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コール パークまたはダイレクト コール パークを使用します。	パークされているコールの保存と取得 (P.47)
電話機を使用して、他の場所で呼び出し中のコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	自分の電話機にリダイレクトされたコールへの応答 (P.45)
プライオリティ コールに応答する	現在のコールを切断し、[応答] を押します。	重要なコールの優先順位付け (P.54)

目的	操作	参照先
携帯電話または他のリモート接続先でコールに 応答する	<p>モバイル コネクトを設定して電話に応答します。</p> <p>モバイル コネクトを有効にした場合の動作は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デスクトップとリモート接続先でコールを同時に受信します。 • デスクトップの電話機でコールに応答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。 • 1 つのリモート接続先でコールに応答すると、それ以外のリモート接続先では呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。 	<p>1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理 (P.57)</p>

ヒント

コールの発信者と受信者にピープ音が聞こえる場合、そのコールは監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの終了

コールを終了するには、単純に切断します。詳細を次に示します。

目的	操作
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または[終了]を押します。
ヘッドセットを使用しているときに切断する	 () を押します。または、ヘッドセットモードをアクティブのままにするには、[終了]を押します。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または [終了] を押します。

コールの保留と復帰

コールを保留および復帰することができます。コールを保留にすると、電話スクリーンで回線の横に保留アイコン  が表示され、対応する回線ボタンが緑  で点滅します。

別のユーザが共有回線を保留にすると、関連付けられている回線ボタンに  (点滅) が表示されます。ユーザまたは回線を共有する任意のユーザが、このコールを復帰できます。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間が経過した後に復帰し、呼出音が再び鳴るようになります。「復帰」コールは、ユーザが保留解除するまで、または保留復帰がタイムアウトするまで保留状態のままです。

復帰コールの存在は、電話機の次のアクションによって示されます。

- 一定の間隔で呼出音(点滅やビープ音など、電話回線の設定によって異なる)を1回鳴らして警告する
- 電話スクリーン下部のステータスバーに「保留復帰」という短いメッセージを表示する
- 保留中コールの発信者 ID の横に、保留復帰アイコンの動画  が表示される
- 回線ボタン  が表示される(回線状態によっては点滅)

目的	操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。 2.  を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ul style="list-style-type: none"> • 保留中コールの  (点滅)  (点滅) または  (点滅) を押します。または、 • 対応するコールが強調表示されていることを確認して、次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> - [復帰] を押します。 -  を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 着信コールと復帰コールが同時に存在するというアラートが発生すると、デフォルトでは、電話機のスクリーンは着信コールの表示にフォーカスを移します。システム管理者は、このフォーカス優先度の設定を変更できます。
- 共有回線を使用している場合、保留復帰の呼出音は、コールを保留している電話機でのみ鳴ります。回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰のアラートが発生する間隔は、システム管理者が決定します。

ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットでミュートを使用できます。

目的	操作
マイクロフォンをオンにする	 を押します。
マイクロフォンをオフにする	 を押します。

複数のコール間での切り替え

複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。

目的	操作
別の回線の保留中コールに切り替える	切り替える回線の  (点滅) を押します。
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	 (点滅) を押します。アクティブなコールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。

進行中のコールの他の電話機への切り替え

進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

目的	操作
進行中のコールをデスクトップの電話機から携帯電話に切り替える	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="508 367 1267 427">1. [モビリティ] ソフトキーを押して、[携帯電話へコールを送信] を選択します。 <li data-bbox="508 443 1267 646">2. 進行中のコールに携帯電話で応答します。 デスクトップ電話機の回線ボタンが赤  になり、ハンドセットアイコンと発信者の番号が電話機に表示されます。他のコールに同じ電話回線を使用することはできません。ただし、デスクトップの電話機が複数回線をサポートする場合は、別の回線を使用してコールの発信および受信が可能です。
進行中のコールを携帯電話からデスクトップの電話機に切り替える	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="508 654 1267 714">1. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないで済みます。 <li data-bbox="508 730 1267 792">2. デスクトップ電話機で 4 秒以内に [復帰] を押して、デスクトップ電話機で会話を開始します。

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。コールを転送すると、電話機は新しい回線で転送を開始します。

目的	操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールで、 を押します。2. 転送先の番号を入力します。3.  をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する（打診転送）	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールで、 を押します。2. 転送先の番号を入力します。3. 相手が応答するのを待ちます。4.  をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。</p>
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	[即転送] を押します。詳細については、 P.33 の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」 を参照してください。

ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効な場合は、切断してコールを完了するか、または  を押してから切断することができます。
- 電話機でオンフック転送が有効でない場合は、 をもう一度押さずに切断すると、コールが保留状態になります。
-  を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。[復帰] をもう一度押して、転送前にコールの保留を解除してください。

ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[**即転送**] を使用して、アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、[**即転送**] を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを転送することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、[**即転送**] でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトすることができます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記で説明したオプションをサポートしていない場合、[**即転送**] を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。

目的	操作
アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	<p>[即転送] を押します。次のどちらかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。 • 電話機のスクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。

ヒント

電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、[**即転送**] をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。

別の電話番号へのコールの転送

コール転送機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

システム管理者によって設定されている場合は、次の2種類のコール転送機能から選択できます。

- 無条件のコール転送（不在転送）: 受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きコール転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）: 条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。

不在転送機能には電話機または Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページからアクセスできますが、条件付きコール転送機能には、ユーザ オプション Web ページからのみアクセスできます。どのコール転送機能を使用できるかは、システム管理者が決定します。

目的	操作
プライマリ回線の不在転送を設定する	<p>[不在] を押して、転送先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) 電話機によっては、プライマリ回線と同じ電話番号に追加の回線キーが割り当てられていることがあります。その場合（かつ、その電話番号へのすべてのコールを転送する場合は）、回線ごとにコール転送を設定する必要があります。</p>
プライマリ回線の不在転送をキャンセルする	[不在] を押します。
プライマリ回線の不在転送が有効になっているかどうかを確認する	次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none">• 常に回線キー 1 にあるプライマリ電話番号の横にコール転送アイコン  が表示されている。• ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。
リモート操作によって、またはプライマリでない回線に対して、コール転送を設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.74 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。2. コール転送の設定にアクセスします (P.84 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。 <p> (注) プライマリ回線以外の回線でコール転送を有効にした場合、電話機ではコールが転送されていることを確認できません。ユーザが自分でユーザ オプション Web ページの設定を確認する必要があります。</p>

ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することができます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- 不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、コール転送ループを招く転送先番号が入力された場合、またはコール転送チェーンで許可された最大リンク数を超えることになる転送先番号が入力された場合です。

サイレントの使用

サイレント機能を使用すると、電話機の呼出音だけをオフにしたり、音声と表示による着信コール通知をすべてオフにしたりできます。電話機のサイレント機能を有効にするのはシステム管理者です。

電話機でサイレントとコール転送の両方が有効になっている場合、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

サイレントと他の種類のコールとの相関関係は、次のとおりです。

- サイレントは、インターコム コールにもインターコム以外のプライオリティ コールにも影響しません。
- サイレントと自動応答の両方が有効になっている場合、インターコム コールだけが自動応答されます。

目的	操作
サイレントをオンにする	[サイレント] を押します。 電話機に「サイレント」と表示され、サイレント ライト  (点灯) が点灯し、呼出音がオフになります。
サイレントをオフにする	[サイレント] を押します。
サイレントの設定値をカスタマイズする	<ol style="list-style-type: none">ユーザ オプション Web ページにログインします。P.74 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。次のオプションを設定できます。<ul style="list-style-type: none">[サイレント]: サイレントを有効または無効に設定します。[DND オプション]: [コール拒否] (音声および表示による通知をオフにする) または [呼出音オフ] (呼出音だけをオフにする) を選択します。[DND 着信呼警告] (設定された DND オプションに適用される): アラートをピープ音のみまたは点滅のみに設定するか、アラート通知を無効にします。または、[なし] を選択します (システム管理者が設定した「アラート」設定が使用されます)。

会議コールの使用方法

Cisco Unified IP Phone では、1 台の電話機の会話に 3 名以上の人々を参加させて、会議コールを作成できます。

会議の各機能の使用方法

会議は、必要に応じて、また電話機で使用できる機能に応じて、次に示す方法で開催できます。

- **会議**：参加者それぞれにコールを発信することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。**[会議]** ソフトキーまたは **[会議]** ボタンを使用します。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。
- **参加**：既存の複数のコールを結合することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。**[参加]** ソフトキーを使用します。
- **ミーティング**：会議番号にコールを発信することによって、会議を開催したり、会議に参加したりできます。**[ミーティング]** ソフトキーまたはボタンを使用します。

会議機能の使用方法

会議機能を使用すると、参加者それぞれにコールを発信できます。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。

目的	操作
参加者にコールを発信して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接続コールで、[会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンを押します（必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[会議] ソフトキーを表示します）。 2. 参加者の電話番号を入力します。 3. コールの接続を待ちます。 4. 参加者をコールへ追加するには、[会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンをもう一度押します。 5. この操作を繰り返して、参加者を 1 人ずつ追加します。
既存の会議に新しい参加者を追加する	<p>上記の手順を繰り返します。</p> <p>会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者が決定します。</p>
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	<p>[参加者] または [会議リスト] を押します（必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します）。P.40 の「会議の参加者の表示または削除」を参照してください。</p>

ヒント

- 3人以上の通話相手を結合して1つの会議を開催することが多い場合、結合する複数のコールを先に選択してから【参加】を押すと操作が完了するので、便利です。
- 参加の処理が完了すると、発信者IDが「会議」に変わります。

参加機能の使用法

参加機能を使用すると、複数の既存のコールを結合して、自分が参加者となる会議を開催できます。

目的	操作
複数の既存のコールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールで【参加】を押します（必要に応じて【次へ】ソフトキーを押して、【参加】を表示します）。2. 会議に含めるコールに対応する、緑色で点滅している回線ボタンを押します。 次のどちらかになります。<ul style="list-style-type: none">• コールが結合されます。• 結合するコールを選択するよう求めるウィンドウが電話機のスクリーンに表示されます。操作を完了するには、コールを強調表示し、【選択】を押してから、【参加】を押します。
複数の電話回線上の複数の既存コールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールで【参加】を押します（必要に応じて【次へ】ソフトキーを押して、【参加】を表示します）。2. 会議に含めるコールに対応する、緑色で点滅している回線ボタンを押します。 次のどちらかになります。<ul style="list-style-type: none">• コールが結合されます。• 結合するコールを選択するよう求めるウィンドウが電話機のスクリーンに表示されます。操作を完了するには、コールを強調表示し、【選択】を押してから、【参加】を押します。 <p> (注) 複数回線のコールの参加が電話機でサポートされていない場合は、参加機能を使用する前に、コールを単一の回線に転送します。</p>
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	【参加者】または【会議リスト】を押します（必要に応じて、先に【次へ】ソフトキーを押します）。P.40の「 会議の参加者の表示または削除 」を参照してください。

ヒント

- 3人以上の通話相手を結合して1つの会議を開催することが多い場合、結合する複数のコールを先に選択してから [参加] を押すと操作が完了するので、便利です。
- 参加の処理が完了すると、発信者 ID が「会議」に変わります。

ミーティングの使用法

ミーティング会議では、会議番号に発信することで、会議の開催や参加をすることができます。

目的	操作
ミーティング会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. システム管理者からミーティング電話番号を取得します。 2. 参加者に番号を配布します。 3. 会議を開始する準備ができたら、オフフックにしてダイヤルトーンを受信し、[ミーティング] を押します。 4. ミーティング会議番号をダイヤルします。 ダイヤルインすることにより、参加者は会議に参加することができます。 <p> (注) 会議の開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。この場合、参加者はコールバックする必要があります。</p>
ミーティング会議に参加する	<p>ミーティング会議番号をダイヤルします（この番号は会議の開催者から提供されます）。</p> <p> (注) 会議の開催者の参加より前に会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。この場合、再びコールします。</p>
ミーティング会議を終了する	<p>参加者全員が、切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

ヒント

セキュリティ保護されていない電話機からセキュアなミーティング会議番号にコールすると、ユーザの電話機には「認証されていないデバイス」というメッセージが表示されます。詳細については、[P.52 の「安全なコールの送受信」](#)を参照してください。

会議の参加者の表示または削除

標準の（アドホック）会議中に、参加者のリストを表示したり、参加者を削除したりできます。

会議の参加者のリストを表示する	[参加者] または [会議リスト] を押します 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
会議の参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[更新] を押します。
会議の開催者を確認する	会議リストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた参加者）を検索します。
会議の任意の参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示し、[削除] を押します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[ドロップ] ソフトキーまたは [最後の参加者の削除] ボタンを押します。
会議コールのセキュリティを確認する	「会議」の次に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
セキュリティ保護されている電話機から参加者がコールを発信していることを確認する	参加者の名前の横に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
別の参加者を追加する	P.37 の「会議機能の使用方法」 を参照してください。

インターコム コールの発信と受信

ミュートをアクティブにしたスピーカフォン モードでコールに自動応答する通話先の電話機にインターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、通話相手に短いメッセージを配信できます。通話相手のハンドセットまたはヘッドセットが使用中の場合、使用中のデバイスに音声を送信されます。ユーザの通話相手が現在実行中のすべてのコール アクティビティは同時に継続されます。

通話相手はインターコムのアラート トーンを受信し、次のいずれかを選択します。

- マイクロフォンをミュートにして発信者の通話を聞く(発信者の声は聞こえるが相手はユーザの声が聞こえない)
- インターコム コールにフォーカスが置かれた状態で、[終了]ソフトキーを押してインターコムを終了する。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- アクティブなインターコム ボタンを押し、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカを使用して、発信者と会話する。インターコム コールは双方向の接続になるため、発信者と対話できます。

インターコム機能を使用する場合は、次の点に注意してください。

- 1つのインターコム回線からは、別のインターコム回線にだけダイヤルできます。
- 同時に使用できるインターコム回線は1つだけです。
- アクティブなコールが監視または記録されているときは、インターコム コールの受信または発信ができません。
- インターコム コールを保留にすることはできません。



(注)

エクステンション モビリティ プロファイルを使用してデスクトップ電話機に毎日ログインする場合は、エクステンション モビリティ プロファイルがインターコム機能を含むようにシステム管理者によって設定されていることを確認してください。

目的	操作
事前定義したインターコムの通話相手の番号に、インターコム コールを発信する	 (インターコムの通話相手の回線) を押し、インターコムのアラート トーンが聞こえた後、話し始めます。
事前定義していないインターコムの通話相手の番号に、インターコム コールを発信する	 (☐) を押します。インターコムの通話相手の番号を入力するか、相手の短縮ダイヤル番号を押します。インターコムのアラート トーンが聞こえた後、話し始めます。

目的	操作
インターコム コールを受信する	<p>インターコムのアラート トーンが聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 一方向のオーディオでメッセージを聞きます。•  (アクティブなインターコム回線) を押して発信者と会話をします。• インターコム コールにフォーカスが置かれた状態で [終了] を押します。

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤル機能により、インデックス番号の入力、ボタンの押下、または、電話スクリーン項目の選択を行い、発信できます。設定に応じて、電話機で、複数の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル
- ファースト ダイヤル



- (注)
- 短縮ダイヤルおよび固定短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。P.74 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。
 - ファースト ダイヤルを設定するには、パーソナルディレクトリ機能にアクセスする必要があります。P.69 の「[電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法](#)」を参照してください。
 - システム管理者が、短縮ダイヤルを設定することができます。
-

目的	操作
短縮ダイヤル ボタンを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 短縮ダイヤル ボタンを設定します。P.79 の「Web での短縮ダイヤルの設定」を参照してください。 2. コールを発信するには、 を押します。 <p> (注) 電話機が Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) 短縮ダイヤル機能をサポートする場合は、短縮ダイヤル番号が話し中であるかどうかを、ダイヤルする前に確認できます。P.51 の「BLF による回線状態の確認」を参照してください。</p>
固定短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 固定短縮ダイヤル コードを設定します。P.79 の「Web での短縮ダイヤルの設定」を参照してください。 2. コールを発信するには、固定短縮ダイヤル コードを入力し、[短縮] を押します。
ファーストダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人アドレス帳エントリを作成し、ファースト ダイヤル コードを割り当てます。P.76 の「Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法」を参照してください。 2. コールを発信するには、電話機からファースト ダイヤル サービスにアクセスします。P.76 の「Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法」を参照してください。

自分の電話機にリダイレクトされたコールへの応答

コール ピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。同僚とコール処理タスクを共有する場合、コール ピックアップを使用することができます。

目的	操作
自分のコール ピックアップ グループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> [ピック] ソフトキーまたは[ピック] ボタンを使用します (ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります)。電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。 コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
自分のコール ピックアップ グループ外の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> [Gピック] ソフトキーまたは[グループピックアップ] ボタンを使用します (ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります)。 グループ ピックアップ 番号を入力します。電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。 コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
自分のグループまたは関連付けられたグループ内の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> [他 Grp] ソフトキーまたは[他のピックアップ] ボタンを使用します (ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります)。電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。 コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
特定の内線 (回線番号) で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> [Gピック] ソフトキーまたは[グループピックアップ] ボタンを使用します (ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります)。 ピックアップするコールの回線番号を入力します。たとえば、ピックアップするコールが回線 12345 で鳴っている場合、12345 と入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。 コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。

ヒント

- ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコール(呼び出し中の状態が最も長いコール)からピックアップします。
- [G ピック] ソフトキーまたは [グループピックアップ] ボタンを押して回線番号を入力すると、電話機はその回線で呼び出し中のコールをピックアップします(回線が使用可能な場合)。
- 複数の回線があり、プライマリでない回線のコールに応答する場合、最初に目的の回線の  を押してからコールピックアップのボタンまたはソフトキーを押します。
- ユーザの電話機の設定によっては、ピックアップグループへのコールに関する音声または表示(あるいはその両方)によるアラートを受信する場合があります。
- BLF ピックアップ機能を電話機で使用する場合は、[P.51 の「BLF による回線状態の確認」](#)を参照してください。

パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified Communications Manager システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。次の方法を使用してコールをパークできます。

- コールパーク : [パーク] ソフトキーを使用してコールを保存します。コールが保存されるコールパーク番号が電話機に表示されます。この番号を記録し、コールを取得する場合もこの番号を使用する必要があります。
- ダイレクト コール パーク :  ボタンを使用して、ダイヤルまたは短縮ダイヤルで使用可能なダイレクト コール パーク番号にコールを割り当てます。ダイレクト コール パーク番号からコールを取得するには、パーク取得プレフィックスをダイヤルしてから、同じダイレクト コール パーク番号にダイヤルまたは短縮ダイヤルする必要があります。
[ダイレクトコールパーク] ボタンを使用して、ダイレクト コール パーク番号に短縮ダイヤルしたり、ダイレクト コール パーク番号が使用中か使用可能かを監視したりできます。

目的	操作
コールパークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール中に [パーク] を押します（必要に応じて、[次へ] ソフトキーを押して、[パーク] を押します）。 2. 電話機のスクリーンに表示されたコールパーク番号を書き留めます。 3. 切断します。
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone でコールのパーク番号を入力し、コールに接続します。
アクティブなコールをダイレクト コールパーク番号に転送し、保存する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール中に、 を押します。 2. [ダイレクトコールパーク]  () を押して、ダイレクト コールパーク番号に短縮ダイヤルします。 [ダイレクトコールパーク]  (点滅) () は、そのダイレクト コールパーク番号が使用できないことを示します。 3. もう一度 [転送] を押して、コールの保存を終了します。
パークされたコールをダイレクト コールパーク番号から取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone からパーク取得プレフィックスを入力し、ダイレクト コールパーク番号にダイヤルします。または、パーク取得プレフィックスを入力した後、  (点滅) () を押してコールに接続します。

ヒント

- パークされているコールを取得するまでの時間は制限されています。この時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- システム管理者は、電話機の使用可能な回線ボタンに[ダイレクトコールパーク]ボタンを割り当てることができます。
- [ダイレクトコールパーク]ボタンが電話機にない場合でも、ダイレクトコールパーク番号にダイヤルできます。ただし、ダイレクトコールパーク番号のステータスは表示されません。

ハントグループからのログアウト

大量の着信コールを受信する組織に属している場合、ハントグループのメンバーになっている可能性があります。ハントグループには、着信コールの負荷を共有する一連の電話番号が設定されています。ハントグループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。

電話機から離れているときは、ハントグループからログアウトすることによって、ハントグループのコールが自分の電話機で鳴らないようにできます。

目的	操作
ハントグループからログアウトして一時的にハントグループのコールをブロックする	[ハント]を押します。電話機のスクリーンに「ハントグループからログアウト」と表示されます。
ログインしてハントグループのコールを受信する	[ハント]を押します。ログインすると、[ハントグループ] ボタンが点灯します。

ヒント

ハントグループからログアウトしても、ハントグループ以外のコールは引き続き着信します。

共有回線の使用

次の場合、システム管理者が共有回線の使用を指示することがあります。

- 複数の電話機で1つの電話番号を使う
- 同僚とコール処理タスクを共有する
- マネージャに代わってコールを処理する

共有回線について

リモートで使用中のアイコン

リモートで使用中のアイコン  は、共有回線の別の電話機に接続コールがある場合に表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されていても、通常どおり共有回線でコールを発信  および受信できます。

コール情報の共有と割り込み

共有回線の電話機には、共有回線で発信および受信したコールに関する情報がそれぞれ表示されます。この情報には、発信者 ID および通話時間が含まれます（例外については、[P.49 の「プライバシー」](#)を参照してください）。

異なるモデルの Cisco Unified IP Phone を使用している同僚と回線を共有している場合、共有回線のアクティブなコールに自分自身を追加（または割り込み）できることがあります。通常、この機能は電話機でサポートされていません。必要な場合は、システム管理者に問い合わせてください。必要ない場合は、同僚がコールに参加しないように、プライバシーを有効にしてください。

プライバシー

回線を共有している同僚に対して自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、プライバシー機能を有効にします。プライバシーを有効にすると、回線を共有する他者がコールを表示したり、コールに割り込んだりできなくなります。

共有回線での操作

共有回線のコールの情報を表示したり、同僚が保留にした共有回線のコールを取得したり、他者がコールに割り込むことを防いだりできます。

目的	操作
共有回線が使用中であることを確認する	赤い回線ボタン  (点灯) の横に、リモートで使用中のアイコン  があるかどうかを確認します。
共有回線における現在のコールの詳細を表示する	リモートで使用中の回線の赤い回線ボタン  (点灯) を押します。プライベート コール以外はすべて電話スクリーンのコール アクティビティ領域に表示されます。
共有回線で保留中のコールを取得する	リモートで使用中の回線の赤い回線ボタン  (点滅) を押します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを防止する	<ol style="list-style-type: none">1. [非通知]  () を押します。2. プライバシーがオンになっていることを確認するには、オレンジの回線ボタン  の横にある機能有効アイコン  を確認します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可する	<ol style="list-style-type: none">1. [非通知]  () を押します。2. プライバシーがオフになっていることを確認するには、消灯中の回線ボタン  の横にある機能無効アイコン  を確認します。

ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっている場合、共有回線を通常どおり使用して、コールの発信や受信ができます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。したがって、複数の共有回線でプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示したりコールに割り込んだりすることを防止できます。

BLF による回線状態の確認

Busy Lamp Field (BLF) 機能を使用すると、電話機の短縮ダイヤルボタン、履歴、またはディレクトリリストに関連付けられた電話回線の状態を確認することができます。BLF ピックアップを使用すると、監視対象の回線で呼び出し中のコールに応答できます。どの BLF 機能を電話機に設定するかは、システム管理者が決定します。

目的	操作
履歴またはディレクトリに表示されている回線の状態を確認する	<p>回線番号の横にある BLF インジケータを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none">  回線は使用中です。  回線はアイドル状態です。
短縮ダイヤル回線の状態を確認する	<p>回線番号の横にある BLF インジケータを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none">  回線は使用中です。  回線はアイドル状態です。  BLF で監視された回線が呼び出し中 (BLF ピックアップ)
BLF ピックアップを使用して、同僚の電話機で呼び出し中のコールに応答する	<p>回線の呼び出し中に [BLF ピックアップ] ボタン  を押します。</p> <p>電話機で使用可能な次の回線にコールがリダイレクトされます (回線を指定する場合は、先に回線ボタンを押してから、[BLF] ボタンを押します)。</p> <p>電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、自動的にコールが接続されます。サポートしていない場合、ユーザが自分でコールに応答するようにユーザ自身の電話機が鳴ります。</p> <p>監視対象の回線が呼び出し中でないときに [BLF ピックアップ] ボタンを押すと、電話機はその回線番号に短縮ダイヤルします。</p>

ヒント

- 監視対象の回線に呼び出し中のコールがあるときに、電話機がオーディオ インジケータを再生して通知できる場合があります (BLF ピックアップのみ)。
- BLF ピックアップは、呼び出し中のコールの中で最も古いコールから応答します (監視対象の回線に呼び出し中のコールが複数ある場合)。

安全なコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールがサポートされます。

- **認証されたコール**：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- **暗号化されたコール**：電話機では、Cisco IP ネットワーク内で暗号化された音声（会話）が送受信されています。暗号化済みのコールは認証済みのコールでもあります。
- **保護されたコール**：電話機は、暗号化されたオーディオ（会話）を別の電話機との間で送受信しています。保護されたコールは、暗号化されたコールと同等のセキュリティを確保できるだけでなく、より高度なセキュリティも実現します。コールが両端で保護されている場合、会話の最初にセキュリティ トーンが再生されます。保護されたコールが設定された場合、会議コール、共有回線、エクステンション モビリティ、および回線をまたいで参加など一部の機能が使用できません。保護されたコールは認証を受けていません。
- **ノンセキュア コール**：参加している電話機または接続の少なくとも 1 つでセキュリティ機能がサポートされていないか、電話機を検証できません。

目的	操作
コールまたは会議のセキュリティ レベルを確認する	コール アクティビティ 領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティ アイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 認証されたコールまたは会議 暗号化されたコールまたは会議 ノンセキュアなコールまたは会議

目的	操作
<p>接続の相手側の電話機も安全であることを確認する</p>	<p>暗号化を示す鍵のマークのアイコンが表示されていること、およびコールの最初にセキュリティ トーンが聞こえることを確認します。</p> <p>電話機に暗号化されたコールが設定されると、鍵のマークのアイコンが表示されます。ただし、会話が保護されるのは、セキュリティ トーンがコールの最初に再生される場合だけです。セキュリティ トーンの再生は、コールの両端が保護されていることを示します。保護されていない電話機に接続するコールでは、セキュリティ トーンは再生されません。</p>
<p>社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する</p>	<p>システム管理者にお問い合わせください。</p>



(注) 相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

不審なコールのトレース

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼 ID) 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	操作
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	[迷惑呼] を押します。 電話機でトーンが再生され、電話機に「迷惑呼が成功しました」というメッセージが表示されます。

重要なコールの優先順位付け

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的または状態	必要な操作または状態の説明
発信コールのプライオリティレベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な呼出音 (通常より速い) または特別なコール待機音が鳴る	プライオリティ (Precedence) コールを受けていることを意味します。コールのプライオリティレベルは、電話スクリーン上の MLPP アイコンによって示されます。

目的または状態	必要な操作または状態の説明
コールのプライオリティ レベルを確認する	電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ▣ プライオリティ コール ♣ プライオリティのやや高い (即時) コール ♣♣ プライオリティの高い (フラッシュ) コール ♣♣♣ プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール より高いプライオリティのコールが、コール リストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティ レベルは通常 (ルーチン) です。
コール中に連続したトーンが聞こえる	自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断し、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出音とコール待機音が鳴ります。
- Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) を使用すると、サイレント (DND) 機能が無効になります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声によるアナウンスでエラーが通知されます。
- 次の場合には、MLPP が有効なコールのプライオリティと優先ステータスがそのまま維持されません。
 - コールを保留にする
 - コールを転送する
 - コールを 3 者会議に追加する
 - [ピック] を使用してコールに応答する

Cisco エクステンション モビリティの使用

Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使って、自分用に Cisco Unified IP Phone を一時的に設定することができます。EM にログインすると、電話機が、電話回線、機能、設定されたサービス、および Web ベースの設定といったユーザ プロファイルを選択します。システム管理者は、EM を設定する必要があります。

目的	操作
EM にログインする	<ol style="list-style-type: none">1.  () > [サービス] > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。2. ユーザ ID および PIN (システム管理者より提供されたもの) を入力します。3. 指示がある場合、デバイス プロファイルを選択します。
EM からログアウトする	<ol style="list-style-type: none">1.  () > [サービス] > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。2. ログアウトの指示があったら、[Yes] を押します。

ヒント

- 一定の時間が過ぎると、EM によって自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者により設定されます。
- Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページを使用して EM プロファイルに加えた変更は、電話機で EM にログインしている場合はすぐに有効になります。ログインしていない場合は、次回ログインしたときに有効になります。
- ユーザ オプション Web ページを使用して電話機に加えた変更は、EM からログアウトしている場合はすぐに有効になります。ログアウトしていない場合は、ログアウトした後に有効になります。
- 電話機によって制限を受けるローカル設定は、EM プロファイルには保存されません。

1つの電話番号を使用したビジネス コールの管理

モバイル コネクトとモバイル ボイス アクセスをインストールしておく、デスクトップの電話番号に関連付けられているコールを携帯電話で処理できます。

目的	操作
モバイル コネクトを設定する	ユーザオプション Web ページを使用して、リモート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブロックするためのアクセス リストを作成します。 P.89 の「Cisco WebDialer の使用方法」 を参照してください。
携帯電話でコールに応答する	P.26 の「コールへの応答」 を参照してください。
進行中のコールをデスクの電話機と携帯電話との間で切り替える	P.31 の「進行中のコールの他の電話機への切り替え」 を参照してください。
携帯電話で応答したコールを保留にする	<ol style="list-style-type: none"> [保留](ソフトキーの正確な名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。 通話相手は保留状態になります。 携帯電話で、[復帰] 名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。P.31 の「進行中のコールの他の電話機への切り替え」を参照してください。
モバイル ボイス アクセスに接続する	<ol style="list-style-type: none"> 任意の電話機から、割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 発信番号 (要求された場合) と PIN を入力します。
携帯電話からモバイル コネクトを有効にする	<ol style="list-style-type: none"> 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 携帯電話の番号 (要求された場合) と PIN を入力します。 2 を押してモバイル コネクトを有効にします。 次のように、設定したすべての電話機に対してモバイル コネクトを有効化するか 1 台のみで有効化するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> すべての電話機の場合: 2 を入力します。 1 台の電話機の場合: 1 を押して、リモート接続先として追加する番号を入力し、# を押します。
携帯電話からコールを発信する	P.23 の「コールの発信: その他のオプション」 を参照してください。

目的	操作
携帯電話からモバイル コネクトを無効にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 2. 携帯電話の番号（要求された場合）と PIN を入力します。 3. 3 を押してモバイル コネクトを無効にします。 4. 次のように、設定したすべての電話機に対してモバイル コネクトを無効化するか 1 台のみで無効化するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - すべての電話機の場合：2 を入力します。 - 1 台の電話機の場合：1 を押して、リモート接続先から削除する番号を入力し、# を押します。
すべてのリモート接続先へのモバイル コネクト アクセスをデスクトップの電話機で有効または無効にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. [モビリティ] を押して、リモート接続先の現在のステータス（有効または無効）を表示します。 2. [選択] を押して、ステータスを変更します。 3. [終了] を押します。

ヒント

- 次の条件が当てはまる場合は、モバイル ボイス アクセスにコールするときに発信番号と PIN を入力する必要があります。
 - 発信している番号がリモート接続先の番号でない場合。
 - 通信事業者によって番号がブロックされている（「不明な番号」と表示される）場合。
 - 番号が Cisco Unified Communications Manager のデータベースと完全には一致しない場合。たとえば、ユーザの番号が 510-666-9999 でデータベースに表示されている番号が 666-9999 の場合や、ユーザの番号が 408-999-6666 でデータベースには 1-408-999-6666 と入力されている場合などがこれに当てはまります。
- 要求された情報（携帯電話の番号または PIN）の入力を 3 回連続して誤ると、モバイル ボイス アクセス コールから切断され、一定の時間ロックアウトされます。この場合はシステム管理者に連絡してサポートを受けてください。

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法

電話機と一緒に使用できるオーディオ デバイスは、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンです。

ハンドセットが取り上げられたとき、または別のオーディオ デバイスが使用中のときに、電話機はオフフックになります。

ハンドセットが受け台に置かれていて別のオーディオ デバイスも使用されていないとき、電話機はオンフックになります。

ハンドセットの使用

目的	操作
オフフックにする	ハンドセットを取り上げます。
オンフックにする	ハンドセットを受け台に戻します。
コール中に、スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに音量ボタンを押します。 以降のコール用に音量レベルを保存するには、 [保存] を押します。

ヘッドセットの使用

ご使用の電話機では、有線ヘッドセット用に 4 線または 6 線のヘッドセット ジャックがサポートされています。ヘッドセットの購入については、P.6 の「ヘッドセットについて」を参照してください。

ヘッドセットは、音量ボタンや  など、電話機のすべての制御で使用できます。

目的	操作
ヘッドセット モードのオン / オフを切り替える	 () を押して、ヘッドセット モードのオンとオフを切り替えます (通常、ヘッドセットはボタン 23 に割り当てられます)。
ハンドセットに切り替える	ハンドセットを取り上げます (ボタンは押しません)。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに音量ボタンを押します。 以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。

自動応答を使用する場合は、P.62 の「ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用」を参照してください。

ヘッドセットでのワイドバンドの使用

ワイドバンドをサポートするヘッドセットを使用する場合は、電話機でワイドバンドの設定を有効にすると、オーディオの感度が上がる場合があります (この設定はデフォルトでは無効になっています)。この設定にアクセスするには、 () > [設定] > [ユーザ設定] > [オーディオ設定] > [ワイドバンドヘッドセット] を選択します。

[ワイドバンドヘッドセット] 設定がグレー表示されている場合、ユーザはこの設定を制御できません。

システム管理者に、電話機システムがワイドバンドを使用するように設定されているかどうかを確認します。システムがワイドバンド対応に設定されていない場合は、ワイドバンドヘッドセットを使用してもオーディオの感度が上がったとは感じられない場合があります。ヘッドセットの詳細については、ご使用のヘッドセットのマニュアルを参照するか、システム管理者にお問い合わせください。

スピーカフォンの使用

ハンドセットが受け台にあり、 (ヘッドセット) が点灯していない場合は、番号のダイヤルまたはコールの応答で実行できる多くの操作で、スピーカフォン モードが自動的に切り替わります。

目的	操作
スピーカフォン モードのオン / オフを切り替える	 を押します。
ハンドセットに切り替える	ハンドセットを取り上げます (ボタンは押しません)。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに音量ボタンを押します。 以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。

ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用

自動応答が有効である場合、電話機は、2～3回の呼出音の後、自動的に着信コールに応答します。システム管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットのいずれかの使用時に自動応答するように設定します。大量の着信コールを受ける場合、自動応答を使用すると便利です。

目的または状態	操作
ヘッドセットで自動応答を使用する	<p>コールがない間も、ヘッドセット モードをアクティブにしたまま (● (●)) が点灯したまま) にします。</p> <p>ヘッドセット モードを有効にしておくには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">• [終了] を押して切断します。• [発信] または [ダイヤル] を押して、新規コールを発信します。 <p>ヘッドセット モードで自動応答を使用するように電話機が設定されている場合、● (●) が点灯している場合にのみ、コールに自動的に応答します。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>
スピーカフォンで自動応答を使用する	<p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセット モードを非アクティブのままにします (● (●) が消灯)。</p> <p>その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>

ヒント

自動応答は、サイレント機能がアクティブの場合は無効になります。

電話機の設定の変更方法

呼出音、音量、およびその他の設定を調整することにより、Cisco Unified IP Phone をカスタマイズできます。

呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ

着信コールや新しいボイスメール メッセージの示し方をカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量を調節することができます。

目的	操作
回線ごとに呼出音を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [設定] > [ユーザ設定] > [呼出音] を選択します。 2. 電話回線またはデフォルトの呼出音の設定を選択します。 3. 呼出音のトーンを選択してそのサンプルを再生します。 4. [選択] および [保存] を押して、呼出音のトーンを設定します。または、[キャンセル] を押します。
電話機の呼出音の音量レベルを調節する	<p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセット ボタンとスピーカフォン ボタンをオフにして、音量ボタンを押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。</p>
ハンドセットにあるボイスメッセージのランプの動作を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページにログインします (P.74 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. メッセージ インジケータの設定にアクセスします (P.84 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。 <p> (注) 通常、デフォルトのシステム ポリシーでは、ハンドセットのライト ストリップのランプが点灯することにより、新しいボイスメッセージがあることを示します。</p>
電話機の可聴ボイス メッセージ インジケータの鳴り方を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.74 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. メッセージ インジケータの設定にアクセスします (P.84 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。

電話スクリーンのカスタマイズ

電話スクリーンの特性を調整できます。

目的	操作
電話スクリーンの明るさを変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  () > [設定] > [ユーザ設定] > [明るさ] を選択します。2. 調整するには、音量ボタンを押します。3. [保存] または [キャンセル] を押します。 <p> (注) 電話機の明るさ設定を変更した後、少なくとも 1 分は電源から切断されないようにします。切断されると、明るさ設定が保存されません。</p>
電話スクリーンの言語を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.74 の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。2. ユーザ設定にアクセスします (P.83 の「Web でのユーザ設定の制御」を参照してください)。
回線テキストラベルを変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.74 の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。2. 回線ラベルの設定にアクセスします (P.84 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。
コントラストを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  () > [設定] > [ユーザ設定] > [コントラスト] を選択します。2. 調整するには、音量ボタンを押します。3. [保存] または [キャンセル] を押します。
バックライトをオフにする	システム管理者に連絡し、このオプション機能が使用可能になっているかどうかを確認します。この機能により、バックライトをあらかじめ決めておいた時間 (システム管理者が設定) にオフにできます。

履歴およびディレクトリの使用方法

この項では、履歴およびディレクトリの使用方法について説明します。どちらの機能にも、[ディレクトリ] ボタン  > [ディレクトリ] でアクセスします。

履歴の使用方法

電話機は、履歴を保持します。履歴には、不在履歴、発信履歴、および着信履歴のレコードが含まれます。

目的	操作
履歴を表示する	 > [ディレクトリ] > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。それぞれに最大 100 件のレコードを保存できます。
1 つのコール レコードの詳細を表示する	<ol style="list-style-type: none">  > [ディレクトリ] > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 コール レコードを強調表示します。 [詳細] を押します。この操作により、着信番号、発呼番号、時刻、通話時間などの情報 (発信履歴と着信履歴の場合のみ) が表示されます。
すべての履歴からすべてのコール レコードを削除する	 > [ディレクトリ] を選択し、[クリア] を押します。
1 つの履歴からすべてのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none">  > [ディレクトリ] > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 コール レコードを強調表示します。 [クリア] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[クリア] を表示します)。
1 つのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none">  > [ディレクトリ] > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 コール レコードを強調表示します。 [削除] を押します。

目的	操作
履歴からダイヤルする (別のコールに接続して いない状態)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [ディレクトリ] > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 2. コールレコードを強調表示します。 <hr/> <p>(注) [詳細] ソフトキーが表示された場合、コールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。後述する「ヒント」の項を参照してください。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集] を押します。次に、<<または>> を押します。番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します (必要に応じて、[削除] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します)。 4. オフフックにしてコールを発信します。
履歴からダイヤルする (別のコールに接続した 状態)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [ディレクトリ] > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 2. コールレコードを強調表示します。 <hr/> <p>(注) [詳細] ソフトキーが表示された場合、コールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。後述する「ヒント」の項を参照してください。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集] を押します。次に、<<または>> を押します。番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します (必要に応じて、[削除] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します)。 4. [ダイヤル] を押します。 5. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - [保留]: 最初のコールを保留にし、2番目のコールをダイヤルします。 - [転送]: 最初の通話相手を2番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します (操作を完了するには、ダイヤルした後で  をもう一度押します)。 - [会議]: 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します (操作を完了するには、ダイヤルした後で  () をもう一度押します)。 - [終了]: 最初のコールを切断し、2番目のコールをダイヤルします。

ヒント

- (SCCP 電話機 /SIP 電話機)お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コール ディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- (SCCP 電話機のみ) マルチパーティ コール (転送されてきたコールなど) の完全なコール レコードを表示するには、該当のコール レコードを強調表示して、[詳細] を押します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティ コールごとに 2 つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順に表示されます。
 - 先頭に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールの中で、直近に完了したコールの名前と番号です。
 - 2 番目に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールのうち一番初めに完了したコールの名前と番号です。

ディレクトリ ダイヤリング

設定に応じて、電話機で、社内ディレクトリ機能およびパーソナル ディレクトリ機能をサポートできます。

- 社内ディレクトリ：ご使用の電話機でアクセスできる社内の連絡先です。社内ディレクトリの設定および保守は、システム管理者によって行われます。
- パーソナル ディレクトリ：使用可能な場合、ご使用の電話機および Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページから設定およびアクセスできる個人用連絡先および関連付けられた短縮ダイヤルコードです。パーソナル ディレクトリは、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファースト ダイヤルで構成されます。
 - PAB は、個人用連絡先のディレクトリです。
 - ファースト ダイヤルは、すばやくダイヤルできるように、コードを PAB エントリに割り当てるために使用します。

電話機での社内ディレクトリの使用方法

社内ディレクトリを使用して、同僚にコールを発信できます。

目的	操作
社内ディレクトリログからダイヤルする（別のコールに接続していない状態）	<ol style="list-style-type: none">1.  () > [ディレクトリ] > [社内ディレクトリ] を選択します（正確な名前は異なる場合があります）。2. キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索] を押します。3. ダイヤルするには、リスト項目を押すか、リスト項目までスクロールしてオフフックにします。
社内ディレクトリログからダイヤルする（別のコールに接続している状態）	<ol style="list-style-type: none">1.  () > [ディレクトリ] > [社内ディレクトリ] を選択します（正確な名前は異なる場合があります）。2. キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索] を押します。3. リストをスクロールして、[ダイヤル] を押します。4. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。<ul style="list-style-type: none">- [保留]: 最初のコールを保留にし、2番目のコールをダイヤルします。- [転送]: 最初の通話相手を2番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で  をもう一度押します）。- [会議]: 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で  () をもう一度押します）。- [終了]: 最初のコールを切断し、2番目のコールをダイヤルします。

ヒント

キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。

電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法

パーソナルディレクトリ機能セットには、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファーストダイヤルが含まれています。この項では、電話機でのパーソナルディレクトリの設定方法および使用方法について説明します。P.76の「Webでのパーソナルディレクトリの使用方法」も参照してください。

目的	操作
パーソナルディレクトリにアクセスする (PAB およびファーストダイヤルコードを使用する場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [ディレクトリ] > [パーソナルディレクトリ] を選択します (正確な名前は異なる場合があります)。 2. Cisco Unified Communications Manager のユーザ ID と PIN を入力し、[送信] を押します。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーソナルディレクトリにアクセスし、[個人アドレス帳] を選択します。 2. 検索条件を入力し、[送信] を押します。 3. [前へ] または [次へ] を選択して、リスト内を移動できます。 4. 必要な PAB リスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
PAB エントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスト項目を検索します。 2. そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。 3. [ダイヤル] を押します (必要に応じて、[ダイヤル] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します)。 4. 参加者の電話番号を入力します。 5. ダイヤルする番号を強調表示し、[OK] を押します。 6. もう一度 [OK] を押して、その番号にダイヤルします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスト項目を検索します。 2. そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。 3. [削除] を押します。 4. [OK] を選択して、削除することを確認します。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスト項目を検索します。 2. そのリスト項目を強調表示し、[編集] を押して名前または電子メールアドレスを修正します。 3. 必要に応じて、[電話] を選択して電話番号を修正します。 4. [更新] を押します。

目的	操作
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーソナル ディレクトリにアクセスし、[個人アドレス帳] を選択します。 2. [送信] を選択することで、[検索] ページにアクセスします (最初に検索情報を入力する必要はありません)。 3. [新規] を押します。 4. 電話機のキーパッドを使用して、名前と電子メール情報を入力します。 5. [電話] を選択し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセス コード (9 または 1 など) を必ず含めます。 6. [送信] を選択して、エントリをデータベースに追加します。
ファースト ダイヤル コードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。 3. [ファーストダイヤル] を押します。 4. ダイヤルする番号を強調表示し、[選択] を押します。 5. 番号に割り当てるファースト ダイヤル コードを強調表示し、[選択] を押します。
新規ファースト ダイヤル コードを追加する (PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [ディレクトリ] > [パーソナルディレクトリ] > [個人ファーストダイヤル] を選択します。 2. [ファーストダイヤル] を押します。 3. 割り当てられていないファースト ダイヤル コードを強調表示し、[選択] を押します。 4. [割り当て] を押します。 5. 電話番号を入力します。 6. [更新] を押します。
ファースト ダイヤル コードを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [ディレクトリ] > [パーソナルディレクトリ] > [個人ファーストダイヤル] を選択します。 2. [前へ] または [次へ] を選択して、リスト内を移動できます。 3. 必要なリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
ファースト ダイヤル コードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイヤル コードを検索します。 2. 必要なリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。 3. [ダイヤル] を押します。 4. [OK] を選択して、操作を完了します。

目的	操作
ファースト ダイアル コードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイアル コードを検索します。 2. 必要なリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。 3. [削除] を押します。
パーソナル ディレクトリからログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [ディレクトリ] > [パーソナルディレクトリ] を選択します (正確な名前は異なる場合があります)。 2. [ログアウト] を選択します。

ヒント

- システム管理者は、ユーザがパーソナル ディレクトリにログインするために必要なユーザ ID および PIN を指定できます。
- パーソナル ディレクトリでは、一定の時間が過ぎると自動的にログアウトされます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- キーボードの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。
- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コール ディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ボイス メッセージへのアクセス

ボイス メッセージにアクセスするには、メッセージ ボタン  () > [メッセージ] を使用します。



(注) お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されま
す。ボイス メッセージ サービスの詳細については、付属のマニュアルを参照してください。

目的	操作
ボイス メッセージ サービスの 個人設定を行う	 () > [メッセージ] を押して、音声の指示に従います。 電話スクリーンにメニューが表示された場合は、該当するメニュー 項目を選択します。
新しいボイス メッセージを チェックする	次の表示を確認します。 <ul style="list-style-type: none">• ハンドセットの赤いランプの点灯 (このインジケータは異なる 場合があります。P.63 の「呼出音およびメッセージ インジケ ータのカスタマイズ」を参照してください)。• 電話スクリーンのメッセージ受信アイコン  とテキスト メ ッセージ。  (注) 赤いランプとメッセージ受信アイコンは、プライマリ 回線にメッセージがある場合にのみ表示されます。他 の回線でボイス メッセージを受信しても、プライマリ 回線にメッセージがなければ表示されません。
	次の音を確認します。 <ul style="list-style-type: none">• コールを発信したときにハンドセット、ヘッドセット、または スピーカ フォンから聞こえるスタッタ音。  (注) スタッタ音は回線によって異なります。スタッタ音は、 メッセージを受信した回線を使用しているときにだけ 聞こえます。

目的	操作
ボイスメッセージを聞く、またはボイスメッセージメニューにアクセスする	 > [メッセージ] を押します。 このボタンを押すと、メッセージ サービスに自動ダイヤルされるか、または電話スクリーンにメニューが表示されます。この動作は、お使いのボイスメッセージ サービスによって異なります。
ボイスメッセージシステムにコールを送信する	[即転送] を押します。詳細については、P.33 の「 ボイスメッセージシステムへのコールの送信 」を参照してください。

ユーザ オプション Web ページの使用

Cisco Unified IP Phone は、社内のパーソナル コンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページにログインできます。そのページから、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページから短縮ダイヤル ボタンを設定できます。

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

この項では、ログイン方法と電話機デバイスの選択方法について説明します。

目的	必要な操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプションの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。3. セキュリティ設定を受け入れるように求められた場合は、[はい]または[証明書のインストール]をクリックします。 <p>Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプションのメイン Web ページが表示されます。このページで[ユーザオプション]を選択すると、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファースト ダイヤルにアクセスできます。</p> <p>または、電話機固有のオプションにアクセスするには、デバイスを選択します(次を参照)。</p>

目的	必要な操作
ログイン後にデバイスを選択する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="502 196 1274 300">1. ユーザ オプション Web ページにログインした後に、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 [デバイス設定] ページが表示されます。 <li data-bbox="502 315 1274 435">2. 複数のデバイスを割り当てられている場合は、適切なデバイス（電話機のモデル、エクステンション モビリティ プロファイル、またはリモート接続先プロファイル）を [名前] ドロップダウンメニューから選択します。 <p data-bbox="542 456 1274 586"> (注) [デバイス設定] ページの最上部に表示されるツールバー ボタンは、選択したデバイスの種類によって異なります。</p>
ログイン後に設定オプションを選択する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="502 612 1274 732">1. ユーザ オプション Web ページにログインした後、[ユーザオプション] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ、個人アドレス帳、ファーストダイアル、およびモビリティ設定にアクセスします。 <li data-bbox="502 747 1274 807">2. 他のページから [デバイス設定] ページに戻るには、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。

Web での機能およびサービスの設定

この項では、ログイン後、ユーザ オプション Web ページから機能およびサービスを設定する方法について説明します。ログインについては、P.74 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。

Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法

ユーザのコンピュータからアクセス可能なパーソナル ディレクトリ機能セットは、次の要素で構成されています。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)
- ファースト ダイヤル
- Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer



(注) PAB およびファースト ダイヤルには、電話機からもアクセスできます。P.69 の「[電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法](#)」を参照してください。

Web での個人アドレス帳の使用方法

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用する方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。2. [新規追加] をクリックします。3. エントリの情報を入力します。4. [保存] をクリックします。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。2. 検索情報を指定し、[検索] をクリックします。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none">1. PAB エントリを検索します。2. 名前またはニックネームをクリックします。3. エントリを必要に応じて編集し、[保存] をクリックします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. PAB エントリを検索します。2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。3. [選択項目の削除] をクリックします。

Web でのファーストダイヤルの設定

この項では、ユーザオプション Web ページからファーストダイヤルを割り当てる方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
ファーストダイヤルコードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを作成します。P.76 の「Web での個人アドレス帳の使用法」を参照してください。 2. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。 3. [新規追加]をクリックします。 4. [検索オプション]領域を使用して、適切な PAB エントリを検索します。 5. [検索結果]領域で電話番号をクリックします。 6. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。 7. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤルコードを電話番号に割り当てる (PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。 2. [新規追加]をクリックします。 3. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。 4. 電話番号を入力します。 5. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤル エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。 2. 検索情報を指定し、[検索]をクリックします。
ファーストダイヤル電話番号を編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。 2. 編集するファーストダイヤル エントリを検索します。 3. エントリのコンポーネントをクリックします。 4. 電話番号を変更します。 5. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤル エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファーストダイヤルを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除]をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
<p>回線ボタンをファースト ダイヤルに割り当てる</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p>(注) 回線ボタンをファースト ダイヤルに割り当てるには、電話機でサービスが表示されるようにシステム管理者が事前に設定する必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [サービス URL] をクリックします。 3. [ボタン] ドロップダウン リスト ボックスで [ファースト ダイヤル] サービスを選択します。 4. ボタンの電話ラベルを入力します。 5. [保存] をクリックします。 6. [リセット] をクリックしてから、[リスタート] をクリックします。電話機の設定が更新されます。 <p>回線ボタンを押してファースト ダイヤル コードにアクセスできるようになります。</p>
<p>回線ボタンを PAB に割り当てる</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p>(注) 回線ボタンを PAB に割り当てるには、電話機でサービスが表示されるようにシステム管理者が事前に設定する必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [サービス URL] をクリックします。 3. [ボタン] ドロップダウン リスト ボックスで [個人アドレス帳] サービスを選択します。 4. ボタンの電話ラベルを入力します。 5. [保存] をクリックします。 6. [リセット] をクリックしてから、[リスタート] をクリックします。電話機の設定が更新されます。 <p>回線ボタンを押して PAB にアクセスできるようになります。</p>

ヒント

- ファースト ダイヤルと PAB のエントリは、最大 500 個まで作成できます。
- 新しいファースト ダイヤル エントリは、PAB エントリを使用することなく作成できます。このようなファースト ダイヤル エントリには、ユーザ オプション Web ページでは、「raw」というラベルが付けられます。設定可能なテキスト ラベルは表示されません。

アドレス帳同期ツールの使用方法

アドレス帳同期ツール (TABSynch) を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳を (適切な場合は) PAB と同期することができます。

Microsoft Windows アプリケーションからの場合、TABSynch ツールを使用して、PAB を Microsoft Windows アドレス帳 (WAB) と同期することができます。Microsoft Outlook アドレス帳 (OAB) を使用する場合は、最初に OAB から Windows アドレス帳 (WAB) にデータをインポートする必要があります。その後、TabSync を使用して WAB をパーソナル ディレクトリと同期することができます。

システム管理者は、TABSynch へのアクセスおよび使用方法の詳細な説明を提供できます。

Web での短縮ダイヤルの設定

設定に応じて、電話機で、複数の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル
- ファースト ダイヤル



(注) 短縮ダイヤル機能の使用方法については、[P.43 の「短縮ダイヤル」](#)を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
短縮ダイヤル ボタンを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [短縮ダイヤル] をクリックします。 4. 電話機の短縮ダイヤル ボタン (プログラマブル ボタン) の番号とラベルを入力します。 5. [保存] をクリックします。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <p>(注) 電話機では ASCII ラベル フィールドが使用されます。</p>
固定短縮ダイヤルを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [短縮ダイヤル] をクリックします。 4. 固定短縮コードの番号とラベルを入力します。 5. [保存] をクリックします。
ファースト ダイヤルを設定する	<p>P.77 の「Web でのファースト ダイヤルの設定」を参照してください。</p> <p>ファースト ダイヤルは、電話機からも設定できます。P.69 の「電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法」を参照してください。</p>

Web での電話機サービスの設定

電話機サービスには、特殊な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場や映画情報など）が含まれます。電話機で電話機サービスにアクセスする前に、まず電話機サービスに登録する必要があります。

目的	ログイン後に必要な操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [電話サービス] をクリックします。 4. [新規追加] をクリックします。 5. ドロップダウン リストからサービスを選択し、[次へ] をクリックします。 6. サービス ラベルを変更します。また、使用可能な場合は、追加のサービス情報を入力します（オプション）。 7. [保存] をクリックします。
サービスを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [電話サービス] をクリックします。 3. [検索] をクリックします。
サービスを変更または解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除] をクリックします。
サービス名を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. サービス名をクリックします。 3. 情報を変更し、[保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
<p>使用可能なプログラマブル電話機ボタンにサービスを追加する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [サービス URL] をクリックします。 <hr/> <p> (注) このオプションが表示されない場合は、電話機のサービス URL ボタンの設定をシステム管理者に依頼してください。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 4. [ボタン サービス] ドロップダウン リストからサービスを選択します。 5. サービスの名前を変更する場合は、ラベル フィールドを編集します。 <hr/> <p> (注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベル フィールドを使用します。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 6. [保存] をクリックします。 7. [リセット] をクリックして、電話機をリセットします (新しいボタン ラベルを電話機に表示するために必要です)。
<p>電話機からサービスにアクセスする</p>	<p>回線キーのボタンを使用して、[サービス] [メッセージ] および [ディレクトリ] の各メニューを選択します。</p> <p> () > [サービス]</p> <p> () > [メッセージ]</p> <p> () > [ディレクトリ]</p> <hr/> <p> (注) 電話機で使用できるサービスは、電話機のシステム設定および登録したサービスによって異なります。詳細については、電話機のシステム管理者にお問い合わせください。</p> <hr/> <p> (注) 設定されているサービスが 1 つだけの場合、そのサービスがデフォルトで開かれます。設定されているサービスが複数の場合、スクリーンのメニューからサービスを選択します。</p>

Web でのユーザ設定の制御

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

目的	ログイン後に必要な操作
パスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [ブラウザのパスワード] 領域に情報を入力します。 3. [保存] をクリックします。
PIN を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [電話の PIN] 領域に情報を入力します。 3. [保存] をクリックします。
ユーザ オプション Web ページの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [ユーザロケール] 領域で、[ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。 3. [保存] をクリックします。
電話スクリーンの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [ユーザロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。 3. [保存] をクリックします。

ヒント

PIN とパスワードは、さまざまな機能やサービスにアクセスするために使用します。たとえば、PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナル ディレクトリにログインするために使用します。パスワードは、パーソナル コンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインするために使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

Web での回線設定の制御

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線の設定には、コール転送、ボイスメッセージのインジケータ、呼出音のパターン、回線ラベルなどが含まれます。

電話機で他の回線の設定値を直接設定できます。次の設定が可能です。

- プライマリ電話回線のコール転送を設定する：P.34 の「別の電話番号へのコールの転送」を参照
- 呼出音、表示、およびその他の電話機モデル固有の設定を変更する：P.63 の「電話機の設定の変更方法」を参照

目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとのコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。3. [回線の設定] をクリックします。4. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。5. [着信コールの転送] 領域で、コール転送設定を選択して、さまざまな条件を設定します。6. [保存] をクリックします。
回線ごとにボイスメッセージのインジケータ（ランプ）の設定を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。3. [回線の設定] をクリックします。4. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。5. [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。 <p> (注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライトストリップの赤いランプが点灯することにより、新しいボイスメッセージがあることを示します。</p> <ol style="list-style-type: none">6. [保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとにオーディオ ボイス メッセージ インジケータの設 定を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. 電話機に割り当てられている電話番号 (回線) が複数ある場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。 5. [オーディオメッセージ受信インジケータ] 領域で、さまざまな設定から選択します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>(注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライト ストリップの赤いランプが点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 6. [保存] をクリックします。
電話スクリーンに表示される回 線テキスト ラベルを変更また は作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. 電話機に割り当てられている電話番号 (回線) が複数ある場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。 5. [回線のテキストラベル] 領域に、テキスト ラベルを入力します。 6. [保存] をクリックします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>(注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベル フィールドを使用します。</p> </div>

モバイルコネクト用の電話機とアクセスリストの設定

Cisco Mobile Connect を使用する場合、デスクの電話機と同じ電話番号を使用してコールの発信や受信ができるよう、携帯電話や他の電話機を追加する必要があります。これらの電話機を *リモート接続先* といいます。また、アクセスリストを定義して、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可することもできます。

目的	ログイン後に必要な操作
アクセスリストを作成する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [モビリティの設定] > [アクセスリスト] を選択します。2. [新規追加] をクリックします。3. アクセスリストを識別する名前と説明 (オプション) を入力します。4. 指定されたコールをアクセス リストで許可するかブロックするかを選択します。5. [保存] をクリックします。6. [メンバの追加] をクリックし、電話番号またはフィルタをリストに追加します。7. [フィルタマスク] ドロップダウン リスト ボックスからオプションを選択します。電話番号、制限付きの発信者 ID (使用不可) が表示されたコール、または匿名の発信者 ID (非通知) が表示されたコールをフィルタリングできます。8. [フィルタマスク] ドロップダウン リスト ボックスから電話番号を選択する場合、[DN マスク] フィールドに電話番号またはフィルタを入力します。フィルタの定義には、次のワイルドカードが使用できます。<ul style="list-style-type: none">- X (大文字または小文字): 数字 1 字に一致します。たとえば、408555123X は 4085551230 から 4085551239 までのすべての番号に一致します。- !: 任意の桁の数字に一致します。たとえば、408! は 408 で始まるすべての番号に一致します。- #: 完全一致する数字 1 字として使用します。9. アクセス リストにこのメンバを追加するには、[保存] をクリックします。10. アクセス リストを保存するには、[保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
新しいリモート接続先を追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [モビリティの設定] > [リモート接続先] を選択します。 2. [新規追加] をクリックします。 3. 次の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> - [名前]: 携帯電話（または他の電話機）の名前を入力します。 - [着信先番号]: 携帯電話の番号を入力します。 4. ドロップダウン リスト ボックスからリモート接続先プロファイルを選択します。リモート接続先プロファイルには、作成したリモート接続先に適用される設定が指定されます。 5. [携帯電話] チェックボックスを選択します。デスクトップの電話機から発信されたコールをリモート接続先で受信できるようになります。 6. [モバイルコネクットの有効化] チェックボックスを選択します。デスクトップの電話機と同時にリモート接続先でも呼出音が鳴るようになります。 7. [呼び出しスケジュール] 領域で、次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - [すべての時間]: リモート接続先の呼び出しについて曜日や時間帯の制限を設けない場合にこのオプションを選択します。 - [以下に指定]: 曜日や時間帯で呼び出しスケジュールを設定する場合は、このオプションを選択後、次の項目から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • リモート接続先の呼び出しを許可する曜日のチェックボックスをオンにします。 • 曜日ごとに [終日] を選択するか、ドロップダウン リストから開始時間と終了時間を選択します。 • ドロップダウン リスト ボックスからタイムゾーンを選択します。 8. 次のいずれかの呼び出しオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - [この接続先を常に呼び出し] - [ユーザが選択した許可アクセスリストに発信者が登録されている場合のみ、この接続先を呼び出す] - [ユーザが選択した拒否アクセスリストに発信者が登録されている場合、この接続先を呼び出さない] <p style="margin-top: 10px;"> (注) 呼び出しスケジュールのドロップダウン リスト ボックスには、作成したアクセス リストだけが表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. [保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
新しいリモート接続先を追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [モビリティの設定] > [リモート接続先] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン リスト ボックスからデバイスを選択します。 3. [リモート接続先] をクリックします。 4. [新規追加] をクリックします。 5. 次の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> - [名前]: 携帯電話（または他の電話機）の名前を入力します。 - [着信先番号]: 携帯電話の番号を入力します。 - [最短応答タイマー]: リモート接続先でコールに回答できるまでの時間を入力します（ミリ秒）。 - [最長応答タイマー]: それ以上経過するとリモート接続先でコールに回答できなくなる時間を入力します（ミリ秒）。 - [呼び出し前の遅延タイマー]: リモート接続先でコールの呼出音が鳴るまでの時間を入力します（ミリ秒）。 - [リモート接続先プロファイル]: すべてのリモート接続先に適用する設定が含まれているリモート接続先プロファイルを選択します。 - [許可アクセスリスト]: デスクトップ電話機にコールが着信したときに、携帯電話で呼出音が鳴るようにする電話番号またはルールを選択します。許可アクセス リストまたは拒否アクセス リストを選択できますが、両方は選択できません。 - [拒否アクセスリスト]: デスクトップ電話機にコールが着信したときに、携帯電話で呼出音が鳴らないようにする電話番号またはルールを選択します。許可アクセス リストまたは拒否アクセス リストを選択できますが、両方は選択できません。 - [携帯電話]: デスクトップ電話機から発信されたコールを携帯電話で受ける場合に選択します。 - [モバイルコネクットの有効化]: デスクトップ電話機と同時に携帯電話で呼出音を鳴らす場合に選択します。 - [スマートクライアントインストール済み]: 設定しているリモート接続先がスマートフォンの場合に選択します。 6. [保存] をクリックします。

Cisco WebDialer の使用方法

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることで、ディレクトリ連絡先へのコールを Cisco Unified IP Phone で発信できます。システム管理者は、この機能を設定する必要があります。

目的	操作
ユーザ オプション ディレクトリで WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.74 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。 2. [ユーザオプション] > [ディレクトリ] を選択し、同僚を検索します。 3. ダイアルする番号をクリックします。 4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信] をクリックします（詳細については、この表の最後の項目を参照）。 5. コールの開始ページが表示された場合は、[ダイヤル] をクリックします（今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照）。 これで電話機からコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了] をクリックするか、電話機から切断します。
別のオンライン社内ディレクトリ（ユーザのユーザ オプションディレクトリではないもの）で WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。 2. ダイアルする番号をクリックします。 3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。 4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信] をクリックします（詳細については、この表の最後の項目を参照）。 5. コールの開始ページが表示された場合は、[ダイヤル] をクリックします（今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照）。 これで電話機からコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了] をクリックするか、電話機から切断します。

目的	操作
WebDialer からログアウトする	コールの開始ページまたはコールの終了ページのログアウト アイコンをクリックします。
WebDialer の初期設定を設定、表示、または変更する	<p>[初期設定] ページにアクセスします。</p> <p>[初期設定] ページは、WebDialer を初めて使用するとき（ダイヤルする番号をクリックした後）に表示されます。</p> <p>後で [初期設定] に戻るには、コールの開始ページまたはコールの終了ページの初期設定アイコンをクリックします。</p> <p>[初期設定] ページには、次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [優先する言語]: WebDialer の設定およびプロンプトで使用する言語を指定します。 • [常設の電話を使う]: WebDialer コールを発信するときに使用する Cisco Unified IP Phone および電話番号（回線）を特定します。1 本の回線を持つ電話機を 1 台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線、あるいはその両方を選択します。電話機は、ホスト名を使用して指定します（電話機のホスト名を表示するには、 > [設定] > [ネットワークの設定] > [ホスト名] を選択します）。 • [エクステンションモビリティを使用する]: 選択した場合、WebDialer では、エクステンション モビリティ プロファイル（使用可能な場合）と関連付けられた Cisco Unified IP Phone が使用されます。 • [コールの確認ダイアログを表示しない]: 選択した場合、WebDialer がコールの開始ページを表示しないように要求されます。デフォルトでは、このページは、WebDialer が有効なオンライン ディレクトリの電話番号をクリックした後に表示されます。

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表に記載されている電話ガイドやその他のマニュアルには、http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html からアクセスできます。日本語版マニュアルを参照する場合は、次の URL にアクセスしてください。http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_ipp_shtml

目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
電話回線が1本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
短縮ダイヤルボタンが足りない	まず、現在利用可能な短縮ダイヤルボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。 追加の短縮ダイヤルボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用またはファーストダイヤルサービスへの登録を検討してください。	P.43の「短縮ダイヤル」を参照してください。
1つの内線を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使用することができます。	P.49の「共有回線の使用」を参照してください。

目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コール パーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コール ピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線：同僚のコールを表示できます。 • Cisco エクステンション モビリティ：自分の電話番号とユーザ プロファイルを共有の Cisco Unified IP Phone に適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 応用的なコール処理 (P.43) • 共有回線の使用 (P.49) • Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.56)
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	<p>電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。</p>	<p>P.62の「ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用」を参照してください。</p>
ビデオ コールを発信する必要がある	<p>Cisco Unified Video Advantage の使用を検討してください。これを使用することにより、Cisco Unified IP Phone、パーソナル コンピュータ、および外部ビデオ カメラを使用して、ビデオ コールを発信できるようになります。</p>	<p>詳細については、システム管理者にお問い合わせください。また、『<i>Cisco Unified VT Advantage クイックスタートガイド</i>』および『<i>Cisco Unified VT Advantage ユーザガイド</i>』を参照してください。</p>
電話機の短縮ダイヤルボタンに関連付けられている電話回線の状態を判断する	<p>電話機の Busy Lamp Field(BLF; ビジー ランプ フィールド)を設定するように、管理者に依頼します。</p>	<p>P.51の「BLFによる回線状態の確認」を参照してください。</p>
自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する	<p>Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。</p>	<p>P.56の「Cisco エクステンション モビリティの使用」を参照してください。</p>

電話機のトラブルシューティング

この項では、ご使用の Cisco Unified IP Phone に関するトラブルシューティング情報を示します。

一般的なトラブルシューティング

この項では、ご使用の電話機に関する一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を示します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない	<p>次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。 • 電話番号をダイヤルした後で、Client Matter Code (CMC; クライアント マター コード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力する必要があります。 • 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できなくなっています。
アプリケーション メニューの [設定] を使用できない	システム管理者が、電話機で [設定] を無効にしている可能性があります。
使用したいソフトキーが表示されない	<p>次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • その他のソフトキーを表示させるために [次へ] を押す必要があります。 • 回線の状態を変更する必要があります (オフフックにする、または接続コールにするなど)。 • 電話機が、ソフトキーに関連付けられている機能をサポートするように設定されていません。
[折返し] が失敗する	通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。

症状	説明
不在転送を設定しようとする と、電話機にエラーメッセージ が表示される	不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、不在転送ループを招く転送先番号が入力された場合、または不在転送チェーンで許可された最大リンク数（最大ホップ カウントとも呼ばれます）を超えることになる転送先番号が入力された場合です。詳細については、システム管理者にお問い合せください。

電話機の管理データの表示

システム管理者が、トラブルシューティングの目的で、電話機の管理データへのアクセスを指示する場合があります。

目的	操作
ネットワーク構成データにアクセスする	 () > [設定] > [ネットワークの設定] を選択して、表示するネットワーク設定項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	 () > [設定] > [ステータス] を選択して、表示するステータス項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	 () > [設定] > [モデル情報] を選択します。
電話機のコールおよび音声品質情報にアクセスする	 () > [設定] > [ステータス] > [コールの統計] を選択します。

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN__.html

Index

A

ASCII ラベル フィールドのサポート 80

B

BLF 51

BLF ピックアップ iv, 13, 51

C

Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer 79

Cisco Unified IP Phone

 トラブルシューティング 93

 ~用 Web ベースのサービス 74

Cisco Unified Video Advantage 92

Cisco WebDialer 89

Cisco エクステンション モビリティ 56

CMC 24, 93

E

EM 56

F

FAC 24, 93

Forced Authorization Code、「FAC」を参照

M

MLPP、使用 54

P

PAB

 Web ページでの使用 76

 電話機で使用 69

PIN、変更 83

T

TABSynch 79

W

Web ベースのサービス

 設定 74

 「ユーザ オプション Web ページ」も参照

WebDialer 89

あ

アイコン

 回線の 13

コールの状態を示す 13
アイドル 14
アドレス帳同期ツール 79
暗号化されたコール 52
安全な会議 40
安全なコール 52

い

インターコム回線 14, 41

う

ウィスパー 14

え

エクステンション モビリティ 56

お

オーディオ、～の品質 7

折返し 23

オンフック ダイヤル 21

音量

電話機の呼出音の 63

ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカ
フォンの 59

か

会議コール

～からの参加者の削除 40

～の参加者の表示 40

～のセキュリティレベル 40

ミートミー 39

回線

共有 49

～でサポートされるコール数 13

～と BLF の使用 51

～とコール転送 34, 84

～とコールの状態 13

～のアイコン 13

～の切り替え 30

～の説明 13

～のテキストラベル 84

～のボイス メッセージ インジケータの設定
84

～の呼出音のトーン 63

～の呼出音のパターン 84

き

共有回線

～とリモートで使用中のアイコン 49

～の説明 49

切り替え、コールの 30

く

クライアント マター コード、「CMC」を参照
グループコール ピックアップ 45

け

言語（ロケール）設定 83

こ

コール

- 安全な 52
- 応答 26
- 回線ごとの最大数 13
- 回線との違い 13
- サイレントの使用 36
- 終了 28
- 転送 32, 34, 84
 - ~のアイコン 13
 - ~の会議機能 37
 - ~の複数の通話相手 37
- パーク 47
- 発信 21, 23
- 複数、~の切り替え 30
- 複数の処理 30
- ブロック 36
- 保存と取得 47
- ミュート 30
- 優先順位付け 54
- 呼び出し中のリダイレクト 45
- 割り込み 49
- コールパーク 47
- コールピックアップ 45
- コール待機 26
- コール転送
 - Web ページでの設定 84
 - 電話機で設定 34
- コールの転送、~のオプション 34
- コールへの応答 26
- 国際コールのロギング 22, 67, 71
- 個人アドレス帳、「PAB」を参照
- 固定短縮ダイヤル 43, 79

さ

- サービス、~への登録 81
- サイレント 36

し

- 自動応答 62
- 自動ダイヤル 21
- 社内ディレクトリ
 - Web ページでの使用 89
 - 電話機で使用 65, 67
- 終了、コールの、~のオプション 28
- 詳細ソフトキー、~でのマルチパーティ コール
の表示 66, 67

す

- ステータス データ、~へのアクセス 93
- スピーカフォン
 - 使用方法 59
 - ~で応答 26
 - ~でのコールの発信 21
 - ~を使用中に切断 28

せ

- セキュリティ、コールの 52
- 接続済み 14
- 切断、~のオプション 28

そ

- ソフトキー ボタン
- ～の説明 11

た

- ダイヤル、～のオプション 21, 23
- 短縮ダイヤル
 - 使用方法 23
 - 設定 43, 79
 - ～での BLF の使用 43
 - ～の説明 43
 - ラベル 79

ち

- 着信履歴、～のレコード 65

て

- ディレクトリ
 - Web ページでの使用 89
 - 社内 67
 - 電話機で使用 67
 - パーソナル 67, 69
- デバイス設定ページ 75
- 転送
 - ～のオプション 32
- 電話回線
 - ～の説明 13
- 電話機サービス
 - 設定 76
 - 「ユーザ オプション Web ページ」も参照

電話スクリーン

- 言語の変更 64
- コントラストの調節 64
- 照明の設定 64

と

- 登録、電話機サービスの 81
- トラブルシューティング
 - 一般的な 93
 - 「品質」も参照

に

- 認証されたコール 52

ね

- ネットワーク構成データ、～へのアクセス 93

は

- パーソナルディレクトリ
 - Web ページでの使用 76
 - 電話機で使用 69
- パスワード、変更 83
- 発信、コールの、～のオプション 21, 23
- 発信履歴、～のレコード 65
- ハントグループ、ログアウト 48
- ハンドセット
 - 使用方法 59

ひ

ビジョ ランプ フィールド 51

ふ

ファースト ダイヤル

Web ページでの設定 77

電話機で使用 69

複数のコール、処理 30

不在履歴、~のレコード 65

不審なコール、トレース 54

プライバシー

~と共有回線 49

プレダイヤル 21

へ

ヘッドセット

使用方法 59

~で応答 26

~でのコールの発信 21

~を使用中に切断 28

ヘッドセットのパフォーマンス、全般 6

ほ

ボイス メッセージ サービス 72

ボイス メッセージのインジケータ

~の設定の変更 84

~の説明 72

ボタン 41

保留

~とコールの切り替え 30

~と転送 32

ま

マルチパーティ コール

~の詳細の表示 66, 67

履歴からの特定 66

み

ミーティング会議 39

ミュート、使用 30

め

迷惑呼 54

迷惑呼 ID 54

メッセージ

~のインジケータ 63, 72

~を聞く 72

も

モバイル コネクト

有効化 87

ゆ

ユーザ オプション Web ページ

アクセス 74

~での機能およびサービスの設定 76

~での電話機サービスの登録 81

優先順位付け、コールの 54

よ

呼出音

カスタマイズ 63

~の音量 63

呼出音のトーン、変更 63

呼出音のパターン、変更 84

り

リダイヤル 21

リモート接続先

作成 87

呼び出しスケジュール 87

リモート接続先の呼び出しスケジュール 87

リモートで使用中のアイコン、共有回線の 49

履歴

削除 65

表示とダイヤル 65

ろ

ログアウト、ハントグループからの 48

わ

割り込み

~と共有回線 49

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices.

CCDE, CCENT, Cisco Eos, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, the Cisco logo, DCE, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn and Cisco Store are service marks; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0807R)



The Java logo is a trademark or registered trademark of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. or other countries.

Copyright © 2008, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2008, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先（シスココンタクトセンター）

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122(通話料無料)、03-6670-2992(携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00